



経営トップ

医療法人六人会

いま目の前で困っている人のために
いま持っている最善の臨床技術を提供する

起業家訪問 An Entrepreneur

レキオファーマ株式会社

特集

第32回NAHAマラソンの経済波及効果

RRI No.133

 琉球銀行

 りゅうぎん総合研究所



※目次 (CONTENTS) の各タイトルをクリックするとそのページにジャンプします。

CONTENTS

経営トップに聞く 01

医療法人六人会

～いま目の前で困っている人のために いま持っている最善の臨床技術を提供する～
理事長 上里 智美



起業家訪問 An Entrepreneur 06

レキオファーマ株式会社

～沖縄初の創薬ベンチャー 痔の治療薬や認知症予防の健康食品を開発～
代表取締役社長 奥 キヌ子



新時代の教育研究を切り拓く 08

～より効果的な脳腫瘍の治療に特殊なアミノ酸を導入～

沖縄科学技術大学院大学コミュニケーション・広報ディビジョン メディアセクション
(同大学のHP記事より許可を得て転載)

OCVBの取り組みについて 11

～8月は観光月間/「8月1日」は観光の日～

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー

アジア便り 香港 15

～香港の歴史、イベントについて～

レポーター: 上原 和久 (琉球銀行)
沖縄県香港事務所に出勤中 (副所長)

りゅうぎんビジネスクラブ 18

～「りゅうぎんビジネスクラブ」入会のご案内～

行政情報93 20

沖縄総合事務局経済産業部の最近の取組について
内閣府沖縄総合事務局経済産業部

県内大型プロジェクトの動向91 22

特集 第32回NAHAマラソンの経済波及効果 24

沖縄県の景気動向 (2017年6月) 30

～観光関連の入域観光客数や建設関連のセメント・生コンが前年を上回り、消費関連も引き続き好調に推移するとみられ、県内景気拡大の動きは34カ月連続で強まっている～

学びバンク 42

- ・勝連半島整備 ～独自の魅力 発展に期待～
琉球銀行屋慶名支店長 喜友名 朝夫 (きゆな ともお)
- ・一人のエーサー大会 ～10万人集う夏の風物詩～
琉球銀行壺屋支店長 大城 博二 (おおしろ ひろじ)
- ・オープンAPI ～新しい金融サービス～
琉球銀行総合企画部調査役 多和田 真丈 (たわた まさと)
- ・ホテルの人不足 ～効率化と環境整備必要～
琉球銀行法人営業部調査役 長嶺 伸 (ながみね しん)
- ・那覇市魚のマグロ ～観光客増で消費も拡大～
琉球銀行那覇市役所内出張所長 西平 弘 (にしひら ひろし)

経営情報「法人寄附金」と「企業版ふるさと納税」の関係 45

～寄附金ごとの損金算入限度額および、H28年4月20日
寄附分から導入された企業版ふるさと納税～
提供 太陽グラントソントン税理士法人

経済日誌 2017年7月 47

県内の主要経済指標 48

県内の金融統計 50

経営
トップに聞く

いま目の前で困って
いる人のために
いま持っている最良の
臨床技術を提供する



医療法人六人会

うえざと

ともみ

上里 智美 理事長

医療法人六人会は、上里智美氏が2000年12月に牧港で開業。県内3カ所でクリニックを運営し、整形外科が主要診療科目のリハビリに特化した医療法人である。2016年5月に開院した那覇市奥武山の関連法人Azクリニックでは、独自の手術室と病床を持ち、グループで手術・入院機能とリハビリテーション機能を併せ持つ医療法人となった。今回は、ロクト整形Azをおたずねし、上里理事長に当法人のこれまでの歩み、事業内容、経営理念、今後の展開などをお聞きした。

インタビューとレポート 大谷 豊

医療法人としては特異な形で設立されたと聞いていますが、設立の経緯やこれまでの歩みを聞かせてください。

医療の在り方を決定づける医療法は何度も改正されますが、1997年の改正で地域の医療機関の連携等を図るという観点から「地域医療支援病院制度」というものが発足しました。

当時、私は名古屋大学医学部卒業後、琉球大学医学部付属病院の整形外科医局に入り浦添総合病院に勤めていたのですが、暫くして浦添総合病院がその地域医療支援病院の認定を受けることになりました。地域医療支援病院としての条件のひとつに、患者様の紹介率が6割以上というものがあります。独立を考えていた私は、その支援を受ける地域の医療機関、つまり“地域の人々に最も近い存在”である末端医療機関

での独立を決意したのです。

私は、医局から同じく浦添総合病院に勤めていた後輩らと相談し、せっかく始めるならば、同じ目標を持った者同士、今までにない形で始めようと決めました。その時の6人で立ち上げたのが“六人会”なのです。

開業にあたり、周囲からは「複数の医師で開業するのはうまくいかない」と批判の声もありました。しかし私たちは、六人ともお互いに気心も知れ、信頼し合った先輩・後輩の間柄でありましたので、設立に踏み切りました。そうして2000年、浦添市牧港にロクト整形外科クリニックを開院、手術が必要な患者様は連携病院である浦添総合病院へ紹介し、手術の執刀も私達が担当する仕組みにしました。その翌年には医療法人六人会を設立し、今日に至っています。



ロクト整形外科クリニック外観



ロクト整形J2の外観



ロクト整形Azの外観



広々としたロクト整形Azのリハビリ受付

開院当初は、皆で県内の学校を訪問し、クラブ活動中のケガへの対応方法などの聞き取りや当院のリハビリについて案内をして回りました。その結果“スポーツ整形はロクトで”という認知につながっていきました。

グループの3病院、それぞれの診療内容や開わりについてご紹介いただけますか。

当法人では、私を含め18名の医師で3つのクリニックを輪番で診療担当し、さらに浦添総合病院や離島の医療機関へも赴き診療にあたっています。各クリニックにそれぞれ院長はおりますが、その他の医師の所属はあえて明確に決めていません。毎朝、医師全員で前日の手術・診療内容や経過、明日以降の手術予定などを確認し合い、非常に密な連携をとることで各クリニックでの診療を運営しています。

手術件数については、2000年の開院当初は約1,000件ほどでしたが、近年の実績は約2,200～2,400件です。これは県内の整形外科医療機関ではトップクラスで、特に前十字靭帯再建術や人工関節置換術の件数においては2015年に全国でそれぞれ4位と8位という実績でした。

■ロクト整形外科クリニック

一番初めに、浦添市牧港で開院したクリニックです。浦添総合病院へ近く、手術が必要な患者様は同病院で手術を受けてもらい、術後のリ

ハビリテーションを当院で行っています。主に浦添や宜野湾地域の方々にご利用いただいています。

■ロクト整形J2

嘉手納町に2004年に開院しました。主に中北部にお住まいの方々にご利用いただいています。こちらロクト整形外科クリニック同様、手術は浦添総合病院で行っています。

■ロクト整形Az

2016年六人会3番目のクリニックとして那覇市奥武山に開院しました。ここ奥武山は、球場・武道館があり、沖縄ではいわばスポーツの聖地といえるような場所であり、私たちの得意とするスポーツ整形、リハビリテーションを十分に発揮できる場所だと自負しています。また、奥武山は港や空港に近く、離島へもつながる場所でもあります。今後、南部地域だけでなく沖縄県全域の医療向上へも貢献できるよう努力してまいります。

□医療法人銀河Azクリニック

前述のロクト整形Azと同じ那覇市奥武山の施設2階に、六人会にはない手術室と病床を有する医療施設として開院しました。こちらでは関節鏡手術、骨折手術や手の手術を行っています。六人会とは法人が異なりますが、ロクト



ゆったりとしたロクト整形 Az の待合室



スポーツジムのようなりハビリルーム (ロクト整形 Az)



数々のリハビリマシン (ロクト整形 Az)



最新機器が揃った手術室 (Az クリニック)

グループとして密接に連携しており、これまで思い描いてきた“「診断・手術・術後リハビリ」まで一貫した治療を提供する”という理想の私たちをようやく実現できました。

リハビリテーションに力を入れられ、スポーツジムのような施設は日本最大級と聞いていますか？

お陰様で、以上3つの医院に設けたリハビリ施設の広さや設備は、クリニックとしては日本一と言えるかもしれません。リハビリテーションとは「本来あるべき状態に回復」というラテン語が語源で、人が持てる能力・機能を自身の力で元に戻すことを意味しています。当会ではこのリハビリを最重要視しています。やはり手術は痛みが伴うものです。そのため、まず初診で外科的処置の必要性を判断したうえで、必要最小限の手術をお勧めしています。手術後は、リハビリでじっくり元の状態に戻していく治療を受けていただいています。

当グループが提供するリハビリテーションの特徴は、ひとりの患者様に対し様々な職種のプロフェッショナルを集結させた医療チームによるものということです。具体的には療法士による集中治療、トレーナーによる運動療法プログラム提供、管理栄養士による栄養指導などが挙げられます。どれも長年培った技術と経験により、万全の体制で患者様をサポートしています。

離島等へ出張される医療機関とは？

離島支援はつぎのとおりです。

- 公立久米島病院：2010年より診療支援開始。毎週火曜日から土曜日の外来診療を輪番で出張診療しています。
- かりゆし病院（石垣島）：同じく2010年より毎週金曜日の外来診療を輪番で出張診療しています。
- くらはし整形外科（宮古島）：第2・4・5木曜日の外来診療を担当しています。
- オリブ山病院：第2・4金曜日に往診を実施しています。
- 徳山内科クリニック：第2月曜日に外来診療を実施しています。

この他、FC琉球へのチームドクター派遣や3on3バスケットボールリーグへもドクター派遣を行なっています。

何か他に特別に取り組まれていることをご紹介いただけますか。

□診療時間の延長、土・日曜日診療

当会の3クリニックでは、通常午後8時まで診療しています。また、土曜日・日曜日午後6時まで診療しております。骨折等の整形外科関連の疾病は、通勤・通学途中であったり、休日の運動中に多いのではないのでしょうか。その場合、一般の病院はほとんどが休診中で、やむなく救急で病院に行かれることが殆どだと思



回クト整形J2の診療室



最新のMRI（回クト整形J2）



下肢の筋力を計測するバイオデックス



通院が困難な患者さまを送迎するバス

います。その際、担当医がたまたま整形外科の専門であればよいのですが、専門外だった場合、結局は後日改めて整形外科を受診しなければならないケースが大半です。このような実情を受け診療時間の延長と土日診療を実施し、患者様には大変喜んでいただけています。

□送迎バスの運行

サービスの一環として、手術後にリハビリ通院が困難な患者様を対象にバス送迎サービスを行っています。2006年より開始した事業ですが、こちらも好評をいただき現在は14台のバスを稼働、沖縄本島全域をカバーするまでになりました。

経営理念、事業運営の考え方などについてお聞かせください。

六人会の基本理念は「前進あるのみ」です。医療法人設立の際、“特異な形で始めるのだから、失敗は許されない。もう後には戻れない、前進あるのみだぞ”。このように6人で確認合いました。

そこから「前進あるのみ」を社是としたのです。

決して現状に満足せず、どのような状況でも、常に前向きな気持ちで仕事に取り組んでほしい、という想いも込めています。医師の教育においても、常に新しい技術を身に付け患者様に提供するため自己研鑽に努めるよう指導して

いますし、職員にも、常に患者様と一緒に治療に進む気持ちで寄り添うよう指導しています。

人材の育成についての取り組みをお話いただけますか。

特に接遇研修を重視しています。高卒から医療業界未経験者まで、六人会の職員として一貫したサービスの提供や、患者様の痛みや苦しみが少しでも和らぐよう職員のホスピタリティ向上を目的に、年8回ほど外部講師を招き接遇研修を実施しています。加えて医療資格者のスキルアップを目的に、県内外を問わず積極的な研修参加を奨励しています。

先程申し上げたように、私をはじめ医師は各グループクリニックを輪番で回るため、それぞれの施設職員と頻繁に顔を合わせます。そこで常々、皆の表情や患者様との対応、挨拶などの「接遇」を大切にしないと注意しています。接遇はあらゆる接客業で重要だと思いますが、私たち医療に携わる者は、その医療技術、知識以上に重視しなければいけないものであると考えています。クリニックの窓口にいच्छるお客様は、いわゆる一般的なサービス業で言われるようなお客様とは違い、痛みや苦しみを抱えている患者様なのですから、専門的医療の知識はなくとも、受付の段階から診断・治療が始まっているのだという意識をもたせるようにしています。

企業概要

商号：医療法人六人会
 本部所在地：沖縄県浦添市牧港 2-46-12 202
 連絡先：098-878-6910（代表）
 創業：2000年（平成12年）12月
 設立：2001年（平成13年）3月
 役員：理事長 上里 智美
 副理事長 渡邊 丞
 理事 嘉手川 啓
 理事 宮里 剛行
 理事 奥間 孝
 理事 林 宗幸
 理事 友寄 英二
 理事 富原 匠
 理事 津嘉山 朝豊
 職員数：347人（パート含む）
 診療内容：整形外科、リハビリテーション科
 グループ：ロクト整形外科クリニック
 ロクト整形 J2
 ロクト整形 AZ
 Azクリニック（医療法人銀河）



全身用骨密度測定装置



予防医学についての講演会開催

また、治療に携わる医師の場合、当然に専門知識や技術の習得が必要ですが、改めて別で習得の機会を設けることはせず、毎日が習得の機会だと指導しています。日々の治療にあたり、先輩医師が後輩医師に実地指導するのです。現場では多種多様なケースがありますので、研修会や学術書からの取得などの、いわば机上の空論よりもその方が効果的であるという考えのもと、このような指導を実践しています。当会の医師には若手が多く、皆チャレンジ精神旺盛ですので、先輩医師の指導を積極的に吸収しています。そして、指導する側には、安心・安全な臨床技術の継承になるよう心掛けさせています。

社会貢献活動についてお聞かせください

特別なことをしている意識はありませんが、先に述べたような離島病院への医師派遣などは社会貢献といえるのではないのでしょうか。2010年より旧知の院長らからのお願いにより始めた医師派遣ですが、今ではすっかり定着し、地元の方々にも受け入れられ喜んでいただいているのは大変嬉しく、頑張ってくれている医師達を頼もしく思っています。

他では、那覇市の海外交流事業の一環として、途上国の外国人留学生（理学療法士）を受け入れ、技術指導も行っています。

また、学校教育現場における部活動でのケガ予防等についての講演も行っています。

これからの取り組みや事業展開についてお話しいただけますか。

日々の診療で得たデータをみると、早急に骨粗鬆症に対する予防策を講じる必要性を感じています。整形外科は、直接的に命に関わる診療科目ではありませんが、いわゆるQOL（人生・生活の質）の改善に寄与することができます。そういった観点からも予防医学に力を入れていきたいと考えています。

また、当会の医師達は県外出身者も多いため、将来は彼らが県外に当会の理念を広めてくれることも期待しています。

さらに、わが県はスポーツや健康といった、沖縄の優位性を活かした産業振興を図っています。そのような中、スポーツの聖地ともいわれるここ奥武山で開院できたことは大変幸運で光栄に思っています。まさに私たちが理想とするスポーツ医療を実践する機会が与えられたと、改めて創業当初の想いに至り「前進あるのみ」の意を強くしております。

これからもよろしくご厚意申し上げます。

レキオファーマ株式会社



沖縄初の創薬ベンチャー。痔の治療薬をはじめ「ウコン」を利用した認知症予防の健康食品を開発する。



おく 奥 キヌ子 社長

事業概要

- 代表者 おく 奥 キヌ子
- 創業 1991年2月28日
- 事業内容 医薬品開発、健康食品の研究開発、製造販売
- 店舗兼事務所 沖縄県那覇市松山 2-1-12
- TEL 098-867-9114
- 役員 8人
- 社員 6人

起業への道のり

大学卒業後は貿易会社を、その後は飲食店を経営していました。当時から、沖縄で何か産業を自分の手で興してみたいと考えていました。

そんな矢先、知人から、中国に「痔」に良く効く「消痔霊」という薬を教えられました。痔疾患の半数以上は内痔核で、手術しか手立てのない病気でした。しかし、聞くとこの薬は注射剤だと云うのです。これが本当なら手術せずに注射で、あの痛い痔を治すことが出来るのでは？この薬を日本で、沖縄から売り出そうと決心したのです。直ちに中国に渡りその薬の発明者に会い、中国以外の国々で開発・販売する権利をもらいました。当時の私は中国で薬として使用されているものなので、日本でもすぐに販売できるものと思い込んでおりました。

○痔の治療薬「ジオン注」誕生

医薬品の開発がどんなものか本当の意味での大変さも知らないままに、ただ沖縄に経済自立を図れる産業を興したいとの思いだけで走っておりました。1991年に医薬品開発を目

的に会社を設立しました。いざ開発に取り組んでみますと、たちまち大きな壁が立ちはだかってまいりました。中国から持ち込んだ消痔霊は変色し沈殿物が発生しました。原因究明の実験を繰り返し、改善できましたが、その後も続く動物実験も費用との戦いでした。ご案内のとおり新薬開発には長い年月と技術力、莫大な費用が必要とされます。

1995年、ついに自社単独での開発に限界を感じ、本土の中堅製薬メーカーとの共同開発に踏み切りました。その後2004年7月に厚生労働省より新薬製造の承認を得ることができたのです。内痔核を注射で治療する治療薬「ジオン注」の誕生です。研究開発に16年余り費やしました。おかげ様で「ジャパン・ベンチャー・アワード2004」で最高賞の経済産業大臣賞も受賞出来ました。現在、ジオン注は日本全国2400カ所の病院で治療薬として使われています。

○「ジオン注」に続く製品開発

健康の話題によく挙がる“医食同源”は沖縄では古くから実践されています。琉球王朝時代、沖縄の二大輸出品（江戸幕府等への献上品）は「ウコン」と「黒砂糖」であったと云われています。

先の「ジオン注」に続く製品を考えたとき、沖縄由来の原料を使うことを思い付きました。

古来より身体に良いというだけでなく、その有効性を科学的に証明する必要があります。数ある作物の中からウコンの有効成分「クルクミン」に着目し、様々な実験を行いました。今回は栄養補助食品、いわゆるサプリメントです。



ジオン注



武者酒行



メモリン



レキオのウコン GOLD



授賞式



研究室

クルクミンの弱点である吸収率の悪さを、
鮫肝油スクワレンと黒胡椒成分ピペリンを配
合することで改善し、特許を取得しました。「レ
キオのウコン GOLD」「武者酒行」は肝機能改
善と二日酔い予防に効くと好評を得ています。

○認知症予防

ウコンの有効成分クルクミンの製品開発中
に、「カレーを日常的に食べているインド人
には認知症が少ない」という研究を知り、認知
症予防の可能性を感じ、それに特化した開発
を進めました。当時 順天堂大学大学院の白澤
卓二教授（アンチエイジングの生みの親）か
ら当社のクルクミン製品を使用したヒト実験
で脳の血流がアップした、という素晴らしい
データを頂きました。

○「メモリン」開発

それで、クルクミンを使った認知症予防の
サプリメントに自信を深めました。レキオの
ウコン GOLD の臨床データで「肝機能の改
善、二日酔い予防に効く」ということは判っ
ていましたが、順天堂大学大学院 田平武教授
による岐阜の河村病院での臨床試験結果から
次のデータを得ることが出来ました。まず、「軽
度認知障害の方々の認知機能が改善され、進
行を抑制する効果」と「血中のホモシステ
イン値（動脈硬化・心筋梗塞に悪影響を及ぼす）
を下げる効果」が確認されたのです。

クルクミンに葉酸、高濃度の各種ビタミン
を配合したことにより優れた臨床結果が得ら
れ、認知症予防に効果が認められました。栄
養補助食品「メモリン」です。

今後の取り組み

日本は高齢化が進み、同時に高齢者の認知
症が社会問題となっています。現在、65才以
上の認知症患者は460万人、予備軍は400万
人といわれ、2025年には患者および予備軍
の数は1300万人に増えると予想されていま
す。この病気は本人、家族も苦しめるもので
す。長寿社会となったことで、他人事ではなく、
皆が当事者といえる状況なのです。現在認知
症を治す薬はありませんが、予防は可能です。
少しでも予防に寄与できる製品開発を続けたい
と考えています。「認知症の早期発見、予防・
治療研究会」にも参加しており、長寿が喜ばれ、
長命で楽しい人生を過ごせるよう啓蒙活動も
行なっています。

脳は案外、“だまされ易い臓器”といわれて
います。“楽しいと思えば、楽しくなり”その
逆にもなるのが脳なのです。また、脳の活性
化には「デュアルタスク」が良いと云われて
います。“一度に二つのことをする”のです。
また、カラオケ、ダンス、有酸素運動、特に
“歩く”ことが脳の活性化に良いと伝わって
います。更に、年をとっても旺盛な知的好奇心
とチャレンジ精神を失わず、積極的な社会参
加をするのも良いとされています。「見た目
が脳年齢を表す」というデータもあるよう
です。若々しい見目で、いくつになってもおし
ゃれを楽しみ、多少でも仕事をつづけるのが、
若く、長生きをする秘訣のようです。もちろ
ん「メモリン」も忘れず飲んで頂ければ幸い
です。

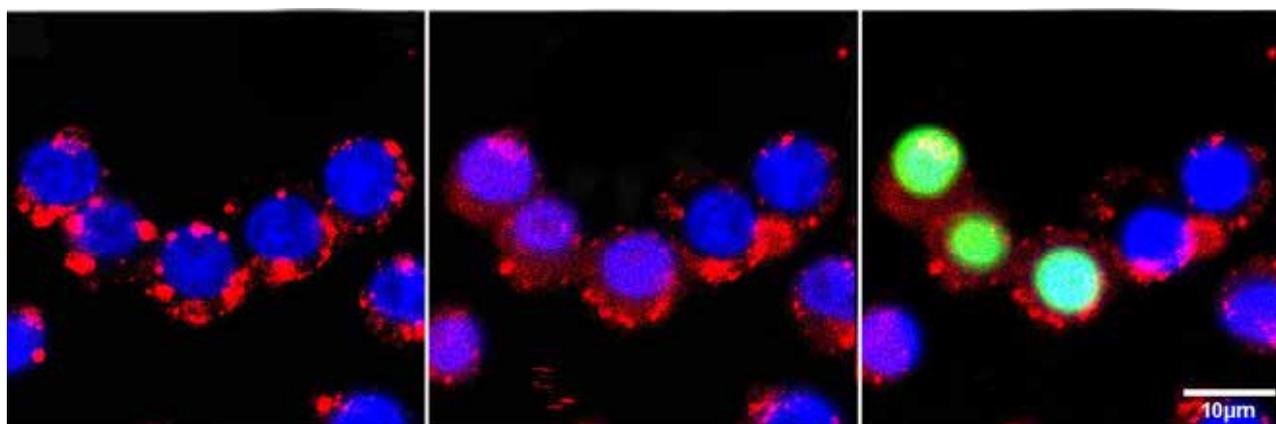
(レポート 大谷 豊)

※沖縄科学技術大学院大学のHPから許可を得て転載した記事です。

新時代の教育研究を切り拓く

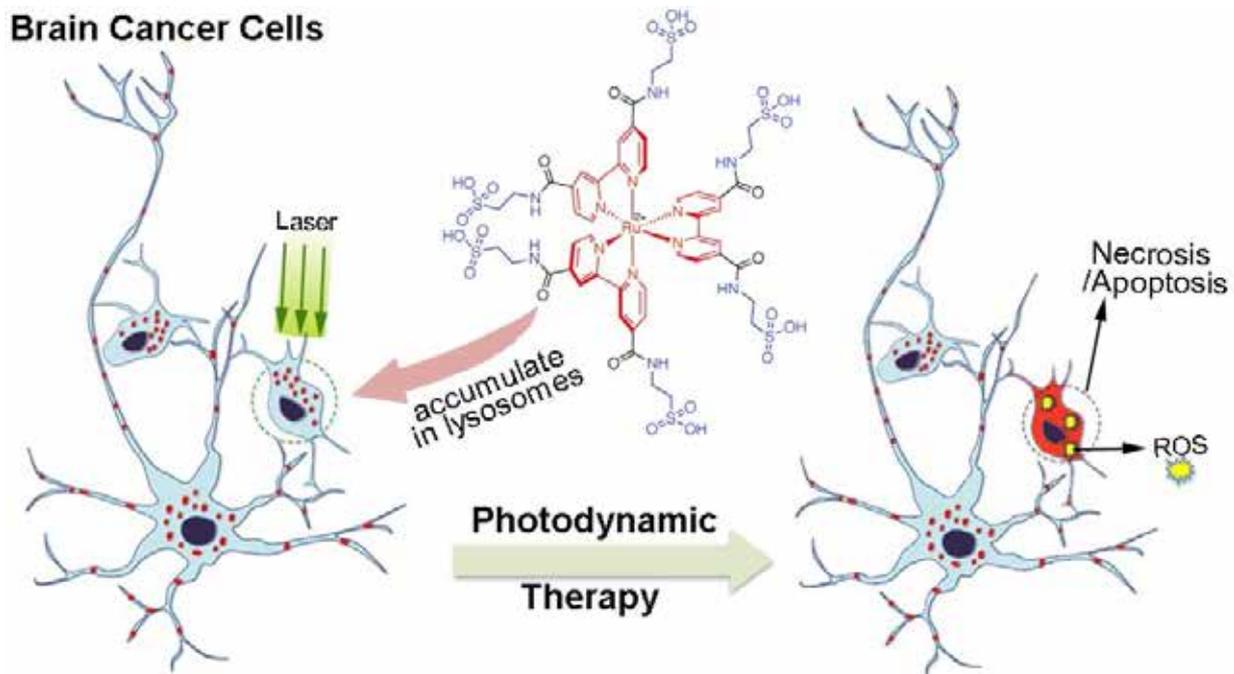
～沖縄科学技術大学院大学の取り組みについて～

より効果的な脳腫瘍の治療に特殊なアミノ酸を導入



光線力学療法は、その特異的な作用機序から脳腫瘍の治療にしばしば用いられています。光線力学療法はガン細胞を含む領域に対して局所的に作用でき、周囲の正常な細胞を傷つけません。光線力学療法は、血中に光感受性物質と呼ばれる薬剤を注射することで、細胞内に薬剤が取り込まれます。その後、薬剤が集積した細胞に光を照射します。薬剤に含まれる光感受性物質は光が照射されると活性酸素として知られる物質を放出し、細胞を死滅させます。この手法は、光感受性物質が正常細胞と比べてがん細胞に集積しやすいため、正常な細胞にダメージを与えずにすむ精密な標的療法です。

しかし、この手法も決して完璧ではありません。ルテニウム・ポリピリジル錯体のように、光感受性物質を構成する化学成分は、安定性および生体適合性が高く、ガン細胞を死滅させる活性酸素の産生能が高い一方で、活性酸素の産生量を増やすために加えた化学成分が水への溶解度を下げてしまいます。このため、このような化合物は、体内に薬剤を送り込む薬物送達において有益な効果を発揮することができません。なぜなら、化合物中の分子が均一に拡散せず凝集した状態になり、90%以上が水分でできている血液の中をスムーズに移動することができないためです。そこで、沖縄科学技術大学院大学（OIST）の研究チームは光線力学療法に改善の余地があると考え、天然アミノ酸であるタウリンをルテニウム錯体の化学構造に加えた、新光感受性物質の作製法の仮説を提唱しました。この研究成果は、イギリスの王立化学会が出版する学術誌*Chemical Communications*に掲載されました。

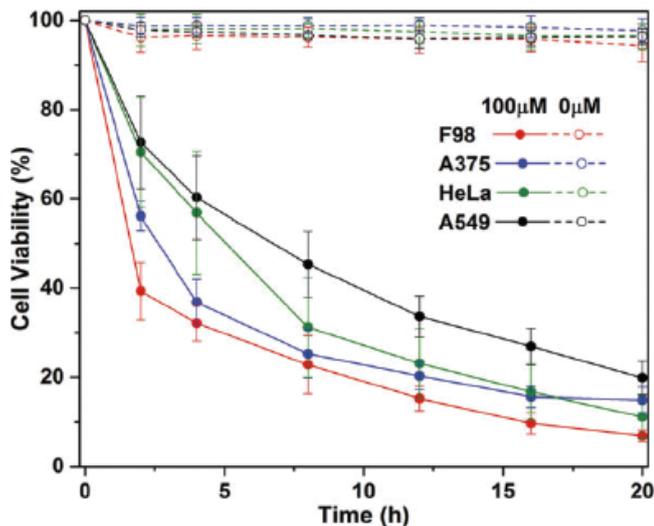


体内に取り込まれたルテニウム錯体は、腫瘍細胞リソソームに集積する。リソソームはすべての細胞内にある袋状の器官である。レーザー光線などの光源によりで錯体を活性化し、活性酸素を発生させる。この活性酸素が腫瘍細胞をネクロシス、あるいはアポトーシスにより死滅させる。

タウリンは中枢神経系内に最も豊富に見られるアミノ酸の一つで、脳内の情報伝達などの重要な機能に関与することが知られています。このように脳との重要な関わりがあり、かつ生体親和性に優れ、水に溶けやすいことから、本研究論文の筆頭著者であるアンミン・ドゥ博士を含むOISTの研究チームは、タウリンを使ってルテニウム錯体を修飾しました。今回の実験では、光感受性物質が集積するリソソーム内の環境を再現している低いpHのクエン酸ナトリウム緩衝液、またはリソソーム以外の細胞のpHと等しい中性のリン酸緩衝生理食塩水を用いることで、細胞内の条件を細胞培養用フラスコ内で再現する形で研究を行いました。

「タウリンの修飾はとてもシンプルです」と語るのは、OIST生体模倣ソフトマターユニットのイエ・ジャン准教授です。タウリンのルテニウム錯体への結合はいたってシンプルで、基本的な化学反応で新たな光感受性物質を作製することが可能です。

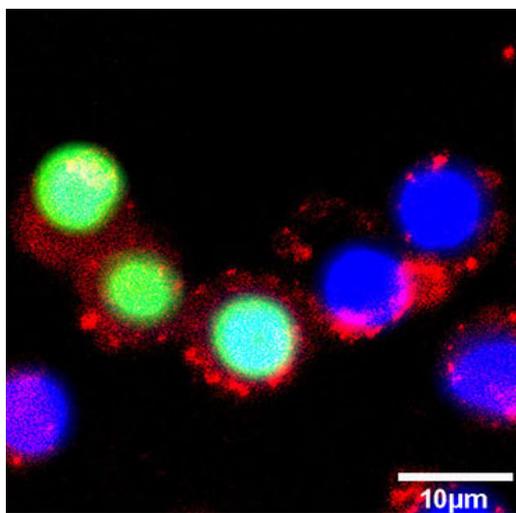
ガン細胞を使って新たに作製した光感受性物質の効果を調べた結果、タウリン修飾型ルテニウム錯体は、従来の機能を維持したまま、細胞内に効率よく取り込まれ、光を照射した際に大量の活性酸素を産出することが分かりました。更に今回開発された新物質は、ガン細胞の中でも特に脳腫瘍に有効であることが明らかになりました。



F98は脳腫瘍細胞、A375、HeLaおよびA549はそれぞれ皮膚がん、子宮頸がん、肺がん細胞を示している。実線はタウリン修飾型ルテニウム錯体で細胞を処理した結果を示している。10分間の光線照射の後、すべてのがんに対するタウリン修飾型ルテニウム錯体を処理し10分間光照射を行うと、細胞の生存率が大きく下がり、その効果は脳腫瘍細胞において最も顕著であった。点線はタウリン修飾型ルテニウム錯体で処理していない結果を示しているが、10分間光照射を行っても細胞の生存率に変化は見られない。

長年にわたり光線力学療法において効果的な光感受性物質を作製しようと研究者たちは様々な化学的組成を探求してきましたが、最善の結果をもたらす手法は未だ存在しません。OISTの研究チームによるタウリンを用

いた光感受性物質の作製が、今後の最適化に向けた開発を後押しし、更なる改良を重ねることで、光線力学療法を使用した脳腫瘍療法におけるより高い治療効果が期待されます。



光線力学療法により脳腫瘍細胞を死滅させる。



OISTではキャンパスツアー(ガイド付もしくは自由見学)を行っています。詳細は地域連携セクション 098(966)2184 までお問い合わせください。

OISTについてより詳しくお知りになりたい方はwww.oist.jpをご覧ください。

8月は観光月間 / 「8月1日」は観光の日
 ウェルカムんちゅになろう



1. 観光の日・観光月間とは

沖縄県では、県民が観光について認識を新たにするとともに本県の観光を広く紹介する日として8月1日を観光の日と定めています。これは沖縄県観光振興条例第27条に定めるもので1979年（昭和54年）12月25日に制定されました。

沖縄県観光振興条例は次のとおり定められており、全文については沖縄県のホームページから閲覧することができます。ここでは前文と第27条について紹介します。

沖縄県観光振興条例
 (昭和54年12月25日条例第39号)
 改正：平成4年3月31日条例第27号

観光は、文化の交流を促進し、国内及び国際社会の相互理解を増進するとともに、経済の発展と生活の安定向上に寄与するものであり、平和と豊かさを象徴するものである。

したがって、観光の発達は、美しい豊かな郷土を創出し、恒久の平和と文化的な生活を享受しようとする我々が絶えず希求してやまないところである。

幸いにして、本県は、我が国唯一の亜熱帯地域として特有の自然景観に恵まれ、また、近隣諸国との長い交流の歴史によって育まれた独特の文化を有している。これらの優れた資源を活用し、広く国民的更には国際的な観光及び保養の場を整備することは、すなわち本県の特性を生かすみちである。

しかしながら、現状は、本県の観光がその特性を生かすための基盤の整備及び環境の形成は必ずしも十分とは言えない。我々は、長期的かつ総合的な視点に立って本県の観光の進むべき方向と目標を明らかにし、その実現に努めなければならない。

ここに、我々は、観光の意義と本県の特性を深く認識し、観光の振興によって真に美しい豊かな郷土の創出に最善の努力を払うことを誓い、この条例を制定する。

(観光の日)
 第27条 県は、県民が観光についての認識を新たにするとともに本県の観光を広く紹介する日として、観光の日を定める。
 2 観光の日は、8月1日とする。

沖縄県とOCVBでは、観光の日から始まる一週間を「観光道徳の高揚と観光資源の保護」を目的とする観光週間として定め、具体的には「観光の意義や重要性の啓発と普及」、「観光資源の保護」、「観光地の美化」及び「地域の魅力に対する自信と誇り」を実施目標に、積極的に推進をしてきました。

また、2010年からは訪日外国人観光客の急増に伴い、新たに8月を「観光月間」として制定しています。「世界水準の観光リゾート地」の形成に向けて、文化や習慣の違いを乗り越え、急増する訪日外国人観光客を温かく迎え入れるべく、県民が「ウェルカムんちゅ（※日本国内はもちろん海外から来られる観光客を「うとういむち（おもてなし）」の心で温かく迎え入れる沖縄県民のこと）」として、主体的に取り組んでいくよう気運を高めることを目的とし、期間中様々な取り組みを展開しています。

ここでは、沖縄県とOCVBが県民の観光産業に対する理解及び関心を深め、観光客を温かく迎え入れる気運を高めるために行っている様々な取り組みをご紹介します。

2. 平成29年度の観光月間キャッチコピー決定！

観光月間をより身近なものに感じてもらうと、観光月間を推進するためのキャッチコピーを募集しました。総数578通の中から次のキャッチコピーに決定しました。

「はいさい！！はいたい！！いちゃりばちよーでー おーきなわ！！」

製作意図：「いちゃりばちよーでーは1度会っ

たら皆な兄弟という意味なので、みんな兄弟で大きな輪！！」



3. 観光の日・観光月間関連イベント情報

県内各地のイベントや施設とタイアップし、沖縄観光の重要性について、発信していきます。

ミス沖縄やゆるキャラからの観光PRや「平成29年度観光月間ナビゲーター」の琉球ゴールデンキングスの皆さんも団結式に参加しますので、ぜひ足をお運びください。

■ 8月1日（火）

10:30～11:30 表彰式

(沖縄県観光功労者表彰、めんそーれ沖縄クリーンアップキャンペーン表彰、ウェルカムんちゅリーダー任命式)

場所：ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー 2F 彩海の間

11:50～16:00 「観光の日・観光月間」オープニングセレモニー

場所：パレットくもじ 1F イベント広場

■ 8月6日（日）

「万人のエイサー踊り隊」タイアップイベント

場所：国際通りてんぷす那覇前

■ 8月12日（土）～13日（日）

2017久米島まつりタイアップイベント

場所：久米島町ふれあい公園

■ 8月19日（土）～20日（日）

国頭村まつり

場所：国頭村立国頭中学校総合グラウンド

■ 8月19日（土）～20日（日）

与那原大綱曳まつり

場所：与那原町御殿山青年広場

※イベント情報については「ウェルカムんちゅになろう」のホームページからご確認下さい。

<http://inbound.ocvb.or.jp/welcome/>

4. 「めんそーれ沖縄」県民宣言

平成26年度には、県民一丸となって沖縄観光を盛り上げていくため、「めんそーれ沖縄」県民宣言を掲げ、更なる気運醸成に努めました。その内容を下記にてご紹介します。



<めんそーれ沖縄県民宣言>

私たちはこれまで、沖縄ならではの魅力的な観光資源を活かし、様々な取り組みを官民一体となって積極的に展開してきました。

このように中、空港機能の強化に伴う航空路

線の拡充や、クルーズ船寄港数の増加などにより、沖縄を訪れる観光客は年々着実に増加しています。特に、訪日外国人観光客の伸びは目覚ましく、沖縄観光は、世界水準の観光地となるべく、今まさに新たなステージを迎えています。

観光産業は、私たちの雇用や観光収入を生み出すだけでなく、他産業への経済波及や人材育成、国際交流の促進や情報集積など、幅広い分野に様々な恩恵をもたらしています。沖縄経済を支えるリーディング産業として沖縄観光が持続的に発展し、「住んでよし、訪れてよし」の世界に誇れる我した島うちなーを創っていくためには、受入体制強化に向けた取り組みを更に加速させ、県民一丸となって沖縄観光を盛り上げていく必要があります。

先人から代々受け継いできた万国津梁の精神と豊かな地域資源、沖縄のちむぐくるを誇りに、ここに「めんそーれ沖縄」県民宣言を高らかに掲げ、うとういむちの心で世界中から友人をお迎えします。

- 1 私たちは、国際感覚、ホスピタリティの向上に努め、国内外の観光客が満足する質の高いサービスを提供します。
- 2 私たちは、豊かな自然環境や風景・まちなみを保存し、訪れる人々に感動を与える魅力的な観光地づくりに努めます。
- 3 私たちは、沖縄の魅力を世界に発信し、観光に携わるあらゆる関係者の連携を強め、その活動をサポートします。
- 4 私たちは、沖縄の宝を今一度見つめ直すとともに、国内外からの観光客を心からの笑顔でお迎えし、いちやりばちよーでーの輪を世界に広げます。
- 5 私たちは力を合わせて、「世界水準の観光リゾート地」を実現し、県民一人ひとりが、夢と希望と活力にあふれる豊かな沖縄を築きます。

5. クリーンアップ活動への取り組み

(1) ALL OKINAWA クリーンアップイベント 2017

沖縄を訪れる観光客を美しい環境で温かく迎えるための取り組みとして、地域と連携したボランティア清掃を8月27日（日）に北谷町・北谷公園陸上競技場周辺一帯で実施します。今年は「第52回沖縄青年ふるさとエイサー祭り」とタイアップして行います。清掃活動後は、若さあふれるエイサーをお楽しみください。年に1度のクリーンアップイベントですので、友人、ご家族などお誘い合わせの上、ぜひご参加下さい。

日時：8月27日（日）9:30～12:00

集合場所：北谷公園陸上競技場内（受付9:00～9:30）

参加申込、詳細については、下記ホームページからご確認ください。

<http://all-okinawa-cleanup.com/>

参加申込締切：8月23日（水）まで



ALL OKINAWA クリーンアップイベント 2016（平成28年度）

(2) クリーンアップ活動物的支援事業

沖縄県並びにOCVBでは、毎月22日をめんそーれクリーンアップの日と定め、平成16年度より規模の大小に係わらず、美化浄化活動を企画・開催する主催者に対し、軍手やゴミ袋などの清掃用具を提供し、本県の美化浄化活動

を推進・促進しています。

豊かな自然環境や風景・まちなみを保存し、訪れる人々に感動を与える魅力的な観光地づくりにご協力ください。多くの皆さまの活用をお待ちしております。

※ OCVB のホームページから申請書などをダウンロードできます。

<http://www.ocvb.or.jp/support/1696>



沖縄国際映画祭なは応援団の美化浄化活動

6. おわりに

沖縄経済のリーディング産業として年々好調に推移する沖縄観光。

これまで官民一体となった積極的な誘客戦略の展開により、平成 28 年度は入域観光客数 877 万人、そして本格的な国際化時代が到来しています。

OCVB では、今後も県民の観光産業に対する理解及び関心を深めることで、日本国内はもちろん海外から来られる観光客を「うとういむち(おもてなし)」の心で温かく迎え入れる「ウェルカムんちゅ」の気運を高め、満足度の高い安全・安心・快適な観光地としての受入体制の充実を図り「世界水準の観光リゾート地」を目指していきます。

【お問い合わせ先】

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 受入事業部受入推進課
〒901-0152 沖縄県那覇市字小禄 1831 番地 1 (沖縄産業支援センター 2 階)

TEL : 098-859-6129

広報チーム mail : pub@ocvb.or.jp

HONG KONG

アジア便り 香港 vol.110



レポーター
上原 和久 (琉球銀行)
沖縄県香港事務所に出向中
(副所長)

香港の歴史、イベントについて

はじめに

皆様こんにちは。沖縄県香港事務所の上原です。突然ですが、7月1日が何の日かご存知でしょうか？この日は香港がイギリスから中国に返還された返還記念日で、香港では祝日となっております。1997年の返還から20年の節目を迎えた今年は、中国の習近平国家主席が就任後初めて香港を訪れた事でも話題となり、日本でもニュース等で取上げられたのではないのでしょうか。日中の街中では一国二制度に異を唱える民主派のデモ団体と親中派が衝突する騒動がある一方で、夜には約4万発の花火が夜空を彩る等、香港の人々にとって特別な一日なのだとは強く感じました。デモの様子を少し見ることができたのですが、多くの若い人が先頭に立って大きく声を上げている姿が印象的でした。最近は「あなたは何人ですか？」との質問に「私は香港人です」と答える若者が増えているそうです(30代より20代の方がその割合が多いのだそうです)。学生を中心に香港政府に抗議を行ったデモ活動、雨傘革命も記憶に新しいところですが、若い世代の政治意識の高さ、民主化への取組みを凄く感じる事が出来ました。さて、香港がかつてイギリスの統治下にあったことは皆様ご

存知かと思いますが、過去に日本が香港を占領した歴史があることはご存知でしょうか？今回はその歴史について及び、当所が携わったイベントについて紹介致します。

1. 日本の統治下にあった香港

真珠湾攻撃と同日の1941年12月8日、日本軍は香港侵略を始めました。日本軍は中国深圳から国境を渡り、旧空港、九龍市街地の占拠、海上封鎖と進み、香港島へと迫りました。イギリス軍は香港島に立てこもりましたが、激戦の末、同月25日に降伏しました。それから日本軍無条件降伏までの3年8カ月、香港は日本軍の南方基地として占領下におかれました。日本軍はペニンシュラホテルを接收して軍政庁とし、クイーンズロードを「明治通り」、ネイザンロードを「香取通り」といった調子で道路名などを日本語に改名しました。日本軍の軍票の乱発で香港経済はインフレとなり、また戦局の悪化に伴い極端な食糧不足が続いたことで、餓死者が続出、100万人以上が香港を逃げ出しました。1945年8月15日の日本軍降伏後、すかさずイギリス軍がやって来ましたが、この日を記念し、8月最後の月曜日は「香港解放記念日」とされているそうです。

日系商品が所狭しと並ぶ光景が見られる他、日本が好きで海外旅行の人気先として多くの香港人が日本を訪れ、日本語を話すことができる香港人も多数いる今般ですが、このような歴史があることもまた事実であり、中には今でも反日感情を抱いている人もいることでしょう。また、この歴史は日本ではあまり知られていないかもしれませんが、香港では小学校の授業で教わるため、一般常識として広く知られているそうです。私より年下の香港人が当たり前の様にこの歴史について話す姿を見て、我々も日本人としてこのような歴史があったことをしっかり認識する必要があるものと強く感じました。尖沙咀（香港随一の観光地、繁華街）にあります香港歴史博物館では日本占領時代のコーナーも常設され、当時の映像や資料等も多数展示されております。ここは古代に遡る地形の様子や、香港の自然、歴史、民俗、発展の過程等について、非常に充実した内容が広大なスペースで展示されているため、香港の知識と理解を深めることができる最適の場所です。しかもその充実した内容にも関わらず、入館料がなんと無料（H29.7.8 現在）となっております。

2. 各種イベントについて

【香港国際旅行展示会（ITE） 6月15日～6月18日】

香港で行われます最も大きな観光イベントの一つがこのITEです。アジア、欧米、中東、南米と世界各国56の国と地域から604ものブースが出展されました。日本からも各都道府県他、旅行会社等の企業が出展されておりました。来場者は企業向けとなる初日、2日目が合わせて12,312人、一般向けとなる3日目、4日目が89,750人と、4日間トータルで10万人以上の来場者を集めたこととなります。これは昨年度から約2.2%の増加で、イベントの注目の高さ、香港人、中国人の旅行熱の高さを感じ

じます。

そんな中、我々の沖縄県ブースは日本からの出展者の中では、東京都等と並んで最大のブースを確保し、各離島（宮古、八重山、久米島）の観光協会、ホテル業者、料理教室、ダイビング業者、読谷村等と参加者一体となって沖縄県の観光を大きくPR致しました。また、各種パンフレットの配布以外にも、泡盛の試飲やワークショップの実施、沖縄が誇る愛すべきゆるキャラ「マハエちゃん」の登場等、他の出展ブースとは違った催し物も実施され盛んに賑わいました。

沖縄ブースを訪れた方には既に本島を訪れたことのあるリピーターも多く、また昨年度に香港一石垣間の直行便が就航された影響もあり、離島の情報を求める声が凄く多い印象を受けました。沖縄に対する地名度や興味の高さを強く感じる一方で、求める情報の質も高く、観光をPRする立場としては、もっとたくさんの幅広い情報の提供や、パンフレットの質や見せ方等、発信力向上の必要性も感じました。香港人は個人での旅行者が多く、自らリサーチし旅行をすることが好きなため、定番の観光情報だけでなく、細かな情報を欲しています。自分だけの特別な旅行を提供できるよう、色々な情報を発信していく必要性があります。

また、ITEと同時期の16日～18日の3日間では、citywalkというショッピングモールにて、出版会社主催による沖縄観光本の最新版発刊記念イベントも開催されました。地元芸能人によるトークショーやワークショップの実施等もあり、こちらも多くの来場者で賑わいを見せたようです。両イベントを通じて、一人でも多くの方が沖縄を訪れ、またその観光客の皆様が充実した時間を過ごせてもらえたら嬉しいですね。

ちなみに国連世界観光機関（UNWTO）によると、2016年の香港の一人当たり海外旅行

支出は3,280米ドルとなり、2位のオーストラリアの1,039米ドルに大きな差をつけて世界一だそうです。旅行好きな国民性がこの数字からもうかがえますし、アジアを代表するハブ空港として機能している証とも言えます。



イベントの様子（筆者撮影）

最後に

7月、8月も各種イベントが開催予定となっております。イベントの様子につきましては随時こちらでお伝えして参りますので引き続きよろしくお願ひ致します。

それでは最後に今月の広東語です。今回は、ショッピングの際に使う会話を中心にご紹介致します。ローカルのお店だと英語が通じない場合も多々あり、前回ご紹介した数字とともに、生活の中では簡単な広東語が必要だと実感する日々です。

日本語	広東語 発音
これを下さい	我要呢個 ンゴイウニゴ
いくらですか？	幾多錢呀？ ゲイトウチンア？
私は～を買いたい	我想賣～ ンゴーションマーイ～
もっとつけてよ！	平的呀 ペンディーラー
領収書を下さい	俾張收條我 バイズエンサウティウゴ
いません	唔要 ムニウ
クレジットカードは使えますか？	信用卡用唔用得呀？ スエンユンカツヨンヨンダァ？

当所では、日頃から県内企業、個人の皆様から香港に関する多くのご質問を頂いております。

香港に関することにつきましてぜひ是非お気軽にお問い合わせください。再見！

沖縄県香港事務所

Tel : (852) 2968-1006

Fax : (852) 2968-1003

E-mail :okinawaopg@bizetvigator.com

🔊 入会のご案内

琉球銀行の経営理念である「地域から親しまれ、信頼され、地域社会の発展に寄与する銀行」を实践するべく、お取引先企業への情報支援サービスの提供を目的に会員制組織「りゅうぎんビジネスクラブ」を設立し、各種セミナーの開催や情報のご提供、県外での商談会など様々なサービスを実施しております。

サービスの ご案内

■各種セミナーの開催による情報等の提供
ビジネスクラブ会員企業トップと弊行役員との親睦の場を兼ねたトップセミナーや実務セミナーに無料で参加いただけます。

【最近の実績】

- H28. 5.24 「ビジネスに効く！コミュニケーション術とアンガーマネジメント」
- H28. 7. 6 「チームで結果を生み出すファシリテーション」
- H28.11. 9 「老舗企業の経営革新」
- H29. 2.22 トップセミナー「経営戦略としてのワークライフバランス」

■「経営参考小冊子」の定期配送

企業運営に有益な情報が盛り込まれた「経営参考小冊子」をお届けいたします。

【内容例】

- ・部下をやる気にさせる上司のひと言
- ・どんな仕事もうまくいく「気づかい」の習慣

■専門家派遣サービス

公認会計士・税理士・司法書士・中小企業診断士・社会保険労務士・行政書士などの各種専門家を無料で派遣し、会員企業様の「経営課題」に対し、会員企業様・専門家・琉球銀行が一体となって取り組むサービスです。

※1社につき年1回ご利用になれます。

■「りゅうぎんマネジメントスクール」の開講

企業経営者や経営幹部を対象にした、ビジネススクールの運営を実施しております。

※別途受講料が必要になります。

【著名な講師例】

- ・第1期 酒巻 久 キヤノン電子㈱社長
- ・第2期 鈴木 喬 エステー㈱会長
- ・第3期 出口 治明 ライフネット生命保険㈱会長兼CEO
- ・第4期 宗次 徳二 ㈱志番屋 創業者特別顧問
- ・第5期 高田 明 ㈱A and Live 代表取締役
- ・第6期 橋本 真由美 フックオフコーポレーション㈱取締役相談役

■「りゅうぎんビジネスフラッシュ」定期配信

税務・会計・法務・人事・労務など、経営のお役に立つ情報レターを毎週FAX配信いたします。

【内容例】

- ・「最少時間」で「最高の結果」を出す！
- ・若手社員向け・簡単な「経営指標」の見方

■りゅうぎんビジネスサイトによる
経営情報等の提供¹

「会員専用サイト」を利用した、タイムリーな各種経営情報の提供をおこなっております。

【内容例】

- ・産業別ニュース21
- ・ビジネスレポート
- ・経営課題解決ナビ
- ・ビジネスマッチング

その他の サービス

■融資利率の優遇

りゅうぎんビジネスクラブ会員企業の皆様に一部融資商品（ベストサポーター、順風満帆）について、融資金利の優遇を実施しております²。詳細は取引店担当者にお問い合わせ下さい。

りゅうぎんビジネスクラブ
入会申込方法
年会費 20,000円

- 1 「りゅうぎんビジネスクラブ入会申込書」及び「りゅうぎんビジネスサイト利用申込書」に必要事項を記入の上、取引店担当者に提出下さい。
- 2 入会金は不要です。
- 3 年会費は20,000円です。 ※お申込月の翌々月4日ご指定口座より引落となります。

お問い合わせ

「りゅうぎんビジネスクラブ事務局」(琉球銀行法人事業部内)

TEL: 098-860-3817 (担当: 照屋、真栄城) までお願いいたします。

¹ 別途りゅうぎんビジネスサイトへの申込(無料)が必要になります。

² 審査の結果、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承下さい。

講演会のご案内

りゅうぎんビジネスクラブ主催セミナー 訪日観光客の心をつかむ！インバウンドビジネス成功戦略

“傾向と対策”でインバウンド市場を攻略しよう！

沖縄県への入域観光客数は今年の5月までに各月の過去最高を43ヵ月連続で更新しています。インバウンド需要を確実に取り込むために必須となる市場分析、戦略、経営者としての心構え等をインバウンドビジネスの専門家 村山 慶輔氏が豊富な知識を交えながら講義いたします！

開催概要

日 時：**平成29年8月17日(木)午後1:30～4:30**
午後1:30より30分間、琉球大学より産学連携についてのご案内がございます。

会 場：沖縄県立博物館・美術館 1階「博物館講座室」
住所：那覇市おもろまち3丁目1-1

講 師：株式会社やまところ
代表取締役 兼 インバウンド戦略アドバイザー
村山 慶輔(むらやま けいすけ)氏
主な著書：「インバウンドビジネス集客講座」(翔泳社)等

定 員：先着**60**名様（原則1社1名様）
※定員に達し次第締切りますのでいますぐお申し込みを！

受 講 料：**無料**※ビジネスクラブ会員企業の方限定※
非会員：8,000円(詳しくはお問い合わせください)

申込方法：申込欄をご記入の上FAXもしくはEメールで
お申し込みください。

申込期限：平成29年 8月15日(火)



村山 慶輔氏

兵庫県神戸市生まれ。ウィスコンシン大学マディソン校卒。在学中、異文化交流に強い関心を持ち、20ヵ国以上を旅行。2000～06年、アクセンチュア勤務。2007年インバウンド観光に特化したB to Bサイト「やまところ.jp」を立ち上げ、企業・自治体向けに情報発信、教育・研修、コンサルティングなどを提供中。インバウンドビジネスの専門家として国内外各種メディアへ出演の他、インバウンド関連諸団体の理事を多数兼任。6月には3冊目となる著書「インバウンドビジネス集客講座(翔泳社)」を出版。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ セミナー参加申込書 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆□

※本セミナーの申込によってお知らせいただいた個人情報は、本セミナーの運営・各種案内送付・各種サービスのご提案のためにのみ利用させていただきます。

御社名	お電話番号
参加者ご職位	参加者名

お申込み | **琉球銀行 法人事業部** (りゅうぎんビジネスクラブ事務局 照屋・真栄城)
お問合せ | **FAX. (098) - 862 - 0704 E-mail : fs4@ryugin.co.jp**
TEL. (098) - 860 - 3817

沖縄総合事務局経済産業部の最近の取組について 「経営力向上計画」で「稼ぐ力」 を後押しします！ ～中小企業の設備投資による 生産性向上をサポート～

人手不足や設備の老朽化といった課題を抱える中小企業にとって、生産性の向上は重要な取組です。こうした中、平成28年7月よりスタートした「中小企業等経営強化法」に基づく「経営力向上計画」の認定を取得し、生産性向上に取り組む沖縄県内中小企業は、平成29年5月末時点で95社に達しました（全国では約2万1千社）。製造業、建設業、サービス業など幅広い業種の中小企業の皆様が、生産性向上に取り組んでいます。

経営力向上計画とは

経営力向上計画とは、人材育成によるマネジメントの向上や設備投資により、事業者が既存事業において生産性を向上させるための計画です。申請書様式は2枚です。自社の強み・弱みや経営状況、労働生産性などの目標、それに向けた取組などを、事業分野別指針に沿って記載します。



計画申請にあたり、経営革新等支援機関（商工会議所・商工会・中央会、地域金融機関、士業等）のサポートを受けることができます。

経営力向上計画認定によるメリット

①税制優遇

中小企業者が認定を受けた経営力向上計画に基づき、平成31年3月末までに新たに取得した一定の設備について、税制面での支

援措置を受けることができます。

・固定資産税の特例

固定資産税が3年間にわたって1/2に軽減されます。赤字企業にも減税効果が期待できます。機械装置のほか、平成29年4月から器具備品や建物付属設備も対象になり、サービス業も含めて幅広く使える措置へと拡充されました。

・中小企業経営強化税制

法人税・所得税について、即時償却又は最大で10%の税額控除が可能です。例えば、セルフレジ（約1,500万円）を取得した場合、取得価格1,500万円全額を損金算入、または約150万円を法人税から控除できます。

(参考)器具備品・建物附属設備のイメージ



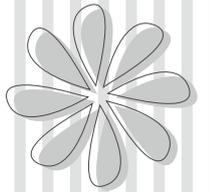
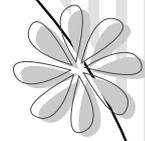
②金融支援

・沖縄振興開発金融公庫や商工中金の低利融資
・民間金融機関の融資に対する信用保証のうち、普通保証等とは別枠での追加保証や保証枠の拡大

③経営力向上計画認定企業に対する補助金における優先採択（ものづくり・商業・サービス補助金等）

申請方法

経営力向上計画の様式等は、沖縄総合事務局経済産業部のHPからダウンロードすることができます。事業分野によって申請先が異なりますので、事業分野や申請方法についてご不明な点は、経済産業部中小企業課までお問い合わせください



セカンドライフのために
今から備えましょう♪

りゅうぎん

iDeCo
イデコ

キャンペーン



自分で掛金を積み立て・運用する
老後資金作りのための制度です。

※iDeCoとは、個人型確定拠出年金の愛称です。

〈キャンペーン期間〉

平成29年 5月1日(月)



平成29年 8月31日(木)

期間中、iDeCo(イデコ)に新規加入された方の中から 抽選で100名様に

ステキな景品
満載!

いずれかのギフトカタログをプレゼント!

「ILLUMS」イルムス
ギフトカタログ

50名様



「日本のおいしい食べ物」
ギフトカタログ

50名様

キャンペーン概要

【名称】りゅうぎん iDeCoキャンペーン 【キャンペーン期間】平成29年5月1日(月)～8月31日(木) 【対象者】個人のお客さま
【内容】期間中、iDeCoに新規加入された方の中から抽選で100名様にいずれかのギフトカタログをプレゼント。【対象店舗】全営業店
【賞品内容】合計100名様 ・「ILLUMS」イルムスギフトカタログ…50名様 ・「日本のおいしい食べ物」ギフトカタログ…50名様
【抽選日】平成29年12月中旬 【当選発表】賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。
【ご留意点】※抽選日までに解約された方は対象外となります。※本抽選による当選は、お一人様一回に限らせていただきます。
※「ギフトカタログ」の商品は予告なく変更となる場合がございます。※ご当選者は当選の権利を本人以外の方に譲渡できません。
また、商品の交換・換金・変更等には応じかねますので、あらかじめご了承ください。
※お客さまの住所・転居先不明等で「ギフトカタログ」をお届けできない場合、当選を無効とさせていただきます。



ご加入時の
留意点

●原則60歳までお引出しできません。

- 資産の運用は加入者ご自身が行い、受け取る額は運用成績により変動します。
(元本を保証する運用商品もあります)
- 口座管理手数料などががかかります。

りゅうぎん 個人型確定拠出年金プランに関する お問い合わせ先 0120-934-090

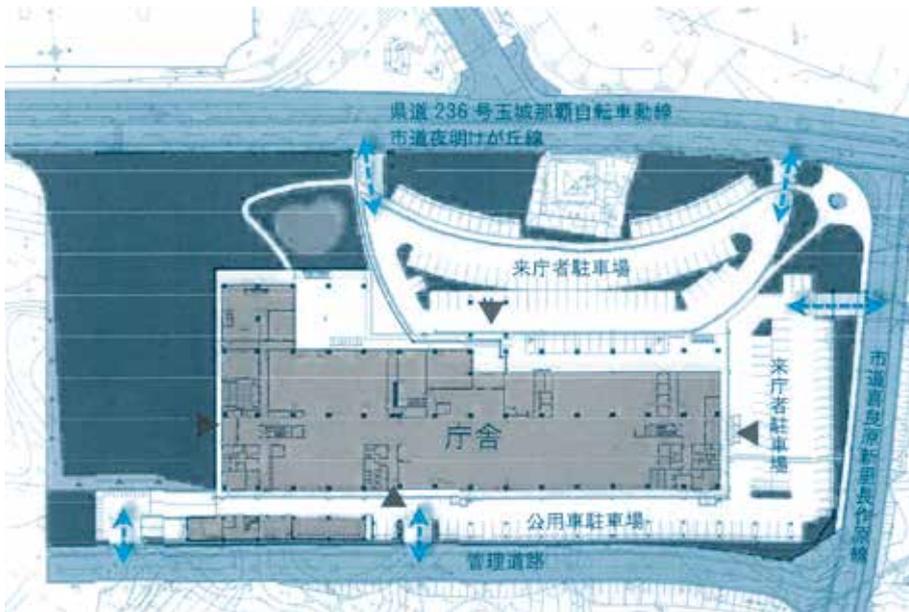
【受付時間】平日 9:00～21:00 土日 9:00～17:00 (祝日・年末年始を除く)

県内大型プロジェクトの動向

事業名：南城市庁舎等複合施設新築工事

種別：(公共) 民間 3セク

関係地域	南城市
事業主体	主体名：南城市 所在地：沖縄県南城市玉城字富里143番地 電話：098-918-0014(土木建築部施設整備課)
事業目的	南城市は、平成18年1月の市町村合併以降、旧町村の庁舎を活用し、分庁方式で、市民サービスを行って来たが、中心的な役割を果たしている玉城庁舎と大里庁舎間は距離があり市民サービスや職員間の連携等に支障をきたしている状況がある。 また、新庁舎建設については、町村合併時に交わされた協定項目の中で「4町村住民の利便性を考慮して4町村の地理的中心地域に建設する。なお、建設にあたっては庁舎建設検討委員会等を設置し、合併特例期間内に行なうものとする。」と明記されており、10年間の行政改革の成果による庁舎建設基金の積立が完了したことや合併特例期限が迫っていることを鑑み、さらなる市民サービスの向上を目的に新庁舎を整備する。
事業期間	平成28年12月～平成30年3月（予定工事期間）
事業規模	延床面積 15,945㎡の市役所庁舎
事業費	約50億円(建築工事費)
施設概要	所在地：南城市佐敷字新里1870番地 規模：地上4階 敷地面積：22,796.59㎡ 高さ：23.88m 建築面積：6,567.08㎡ 延床面積：15,945.67㎡ 構造：鉄筋コンクリート造、免震構造(基礎免震) ■配置図



(南城市土木建築部施設整備課提供)

<p>設計趣旨</p>	<p>■庁舎建設の基本理念 平成26年に策定された南城市庁舎建設基本構想において、市民の利便性に考慮し、市民サービスの向上を図り、効率的で効果的な行政運営を行い、市民との協働によるまちづくりの拠点、防災の拠点となるように「市民に親しまれ、環境に配慮した機能的な庁舎」と基本理念が定められた。 また、庁舎建設の基本理念を実現し設計を進めていくため、庁舎設計の基本的な考えを以下のように整理した。 (1)市民にやさしい便利な庁舎づくり (2)三世代が集まる、地域に根ざした庁舎づくり (3)防災の拠点となる安全・安心な庁舎づくり (4)環境に配慮した庁舎づくり</p>
<p>経緯</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年3月 南城市庁舎建設基本構想策定 ・平成26年9月～平成28年12月 基本設計・実施設計 ・平成28年12月 庁舎建設工事着手
<p>現況及び見通し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年1月に4町村(佐敷町、知念村、玉城村、大里村)が合併し、南城市が誕生し、合併協定項目において、「新庁舎を合併特例期間内に合併特例債を活用して、新市の地理的中心地に建設する」と明記している。 ・合併当初は旧町村で使用されていた4庁舎を活用し行政機能を分散して事務を執行してきたが、平成19年度には築40年以上経過している知念、佐敷の両庁舎を老朽化に伴い閉庁し、現在は出張所で窓口業務の一部を行っている。また、窓口業務以外の機能は現在、玉城庁舎(平成7年竣工)と大里庁舎(平成12年竣工)に集約して執行しているが、両庁舎間は約6kmの距離があり、市民が各種申請、届出、許認可等の手続きを行う際、両庁舎間を往来しなければならないこともあり市民サービスに支障をきたしている。 ・新庁舎の整備地域については、平成22年に策定された「都市計画マスタープラン」において、ユインチホテル南城を中心に、地域サービス拠点と位置づけられ、沖縄県が整備を行っている南部東道路のインターチェンジも整備される予定となっていることから、平成25年に策定された「南城市ちやーGANJU CITY構想」において、重点投資のモデル地区と位置づけられ、平成27年に改定した「都市計画マスタープラン」において、先導的都市拠点地域と位置づけられており、新庁舎と隣接した形で、沖縄振興特別推進交付金を活用した公共駐車場等の整備を行っている。 ・平成30年3月竣工予定 ・平成30年4月供用開始予定
<p>進捗状況</p>	<p>・新庁舎建築工事が進捗中で、今後、外構工事等を発注する予定となっている。</p>
<p>熟度</p>	<p><input type="checkbox"/> 構想段階 <input type="checkbox"/> 計画段階 <input checked="" type="checkbox"/> 工事段階 <input type="checkbox"/> 開業・供用段階</p>

新庁舎外観イメージ



公共駐車場イメージ



新庁舎建設位置



南城市土木建築部施設整備課提供

第32回NAHAマラソンの 経済効果について

経済効果は
約19億7,800万円

要 旨

- ・2016年で第32回を迎えたNAHAマラソンは、国内を代表する一大スポーツイベントとなり、全国でも最大規模の市民マラソンへと成長した。
- ・第32回大会の参加者は約26,600人、うち県外からの参加者は約11,200人で、同大会は冬の観光閑散期における誘客に大きく貢献している。
- ・第32回NAHAマラソンの経済波及効果を2011年の沖縄県産業連関表を用いて試算した結果、経済波及効果は約19億7,800万円となった。
- ・経済効果約19億7,800万円を産業別にみると、宿泊業が約3億400万円と最も大きく、次いで商業の2億9,900万円、運輸業の2億800万円などとなっており、県外からの参加者の消費が全体を押し上げた。
- ・今後も運営面の改善や、観光地・特産品のPR、地域交流イベントの開催などの取組みに力を入れることで、経済波及効果の拡大や年間を通し安定した入域観光客の誘客、地域活性化につなげることも大切である。

1. はじめに

「NAHAマラソン」は、1985年に那覇市とハワイ州ホノルル市の姉妹都市締結25年を記念し「太陽と海とジョガーの祭典」としてスタートした。2016年は32回目の開催となり、いまや国内を代表する一大スポーツイベントとなっている。

同イベントは毎年12月に開催され、県内だけでなく県外からも多くのジョガーが参加する。冬の観光閑散期における入域観光客の誘客に大きく貢献していることから、その経済効果について試算してみた。



(写真提供) NAHAマラソン協会事務局

2. 大会概要

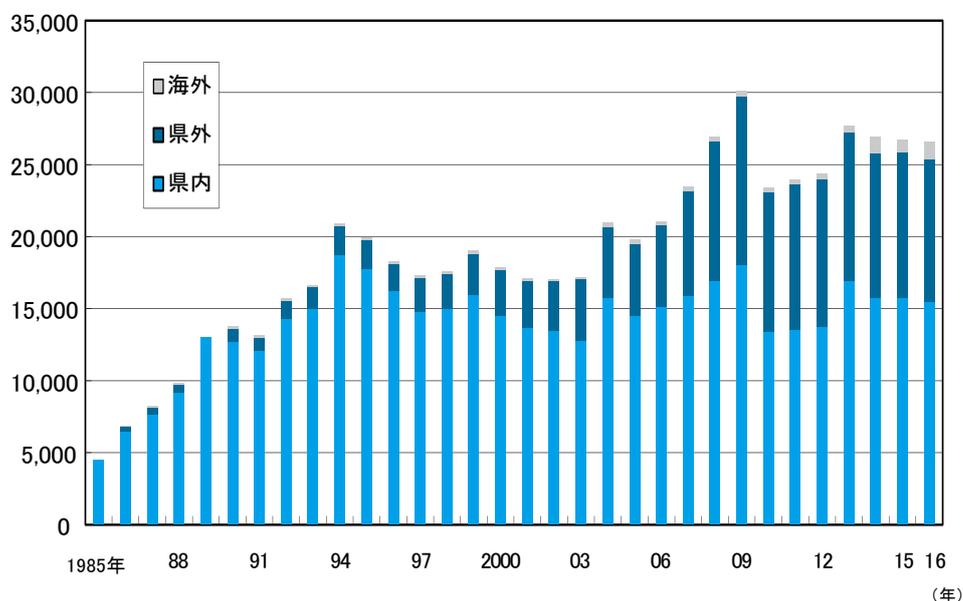
図表1はNAHAマラソンの参加者数の推移である。第1回大会（1985年）の参加者数は約4,500人（申込者数は約5,100人）だったが、その後認知度が高まっていき、第25回大会（2009年）には約30,000人と過去最多の参加者数（申込者数：約33,900

人）となった。今回の第32回大会（2016年）の参加者数は約26,600人（申込者数：約30,000人）だった。

また、県外からの参加者数は第2回大会では約400人だったが、第24回大会（2008年）には約10,000人と初めて1万人の大台に乗り、以後1万人を越えて推移している。開催当初数十人しかいなかった海外からの参加者も近年増加傾向にある。

今回の参加者数の内訳（図表2）をみると、県内の参加者数が約15,400人（うち離島からの参加者数は約1,200人）、県外からの参加者数約11,200人のうち、国内からの参加者数が約10,000人、海外からの参加者数が約1,200人（ただし県内在住の外国籍の参加者も含む）だった。さらに、県外からの参加者については多くの同伴者の来県もあった。

図表1 NAHAマラソン参加者数の推移
(人)



出所：NAHAマラソン協会事務局
※1985年と89年の県外海外からの参加者数はデータなし

図表2 「第32回NAHAマラソン」参加者数の内訳

属性	人数 (人)
県内の参加者	15,447
県外(国内)からの参加者	9,929
海外からの参加者	1,197
合計	26,573

3. 直接支出額について

まず、経済効果を試算するにあたって、県内及び県外からの参加者や同伴者などによる宿泊費や飲食費、交通費、マラソンに参加する準備に要した費用などの消費額について推計する。次に、第32回大会開催のために要した会場設営費や広告、参加者用のTシャツ、メダル製作費などの支出について推計する。

(1) 参加者などによる消費額

参加者などによる消費額は、県内（本島）の参加者等は宿泊しないものとし、県

内離島および県外からの参加者などには宿泊費を計上した。支出額については、沖縄県が発表している、平成27年版観光要覧や平成27年度観光統計実態調査、平成27年度外国人観光客実態調査報告書などから、ホテル客室単価や県外客消費単価、1人あたり観光消費額（国籍別）などを参考に推計した。

その結果、県内外からの参加者などによる消費額の合計は、12億1,200万円となった（図表3）。

図表3 参加者などによる消費額

支出項目	金額 (百万円)
宿泊費	303
飲食費	248
土産・買物費	228
衣料品・靴購入費等	154
交通費	148
娯楽・入場費	95
その他	37
合計	1,212

(2) 直接支出額

第32回大会の運営費から、産業連関表の産業に分類されない租税公課や人件費などを控除した支出額は、2億2,200万円となった。

これを(1)の参加者などによる消費額と合計すると14億3,400万円となり、これが直接支出額となる（図表4）。

4. 「第32回NAHAマラソン」の経済効果試算

ここで、さきほど求めた直接支出額14億3,400万円をそれぞれ該当する産業別需要項目に分類し、2011年の沖縄県産業連関表を用いて県内各産業への波及効果も含めた経済効果を算出する（図表5）。

まず、県内の産業全体の自給率は100%ではないため、直接支出額に県内での自給率を掛けて算出した額は11億2,800万円となり、これが直接効果となる。

次に直接効果である宿泊費、飲食費、交通費、会場設営費などが県内で支出されると当該産業だけでなく、こうした産業に原材料、サービス等を提供している産業への売上増加へと波及していく。これを1次間接波及効果といい、これが4億8,900万円となる。

さらに直接効果、1次間接波及効果のように各産業へ波及した効果は雇用者の所得へと結びつき、これらの雇用者の所得が消費へと繋がり、消費を通して各産業の生産を増加さ

図表4 「第32回NAHAマラソン」直接支出額の内訳

	支出項目	直接支出額 (百万円)	内 訳
1	参加者などによる消費額	1,212	県内外参加者および同伴者による宿泊費、飲食費、買物費、交通費など
2	第32回NAHAマラソン関係支出額	222	会場看板、テント設営撤去費、記録計測業務費、メダル・トロフィー製作費、Tシャツ・ナンバーカード製作費、仮設トイレ設置及び汲み取り代など
	合計	1,434	

せていく。これを2次間接波及効果といい、これが3億6,100万円となる。

これらの直接効果と1次間接波及効果、2次間接波及効果であるそれぞれの生産誘発額を合計したものが、19億7,800万円となり、これが第32回NAHAMラソンの経済波及効果となる。また、これらの効果のうち、原材料やサービス等の仕入れを除いた分が粗付加価値誘発額（10億7,600万円）となり、この中で雇用者へ支払った賃金等が雇用者所得（5億8,000万円）となる。さらに、これらの生産活動を通して雇用が発生し、その雇用効果は217人となった。

以上、第32回NAHAMラソン開催による

県全体への経済波及効果は19億7,800万円となり、直接支出額の14億3,400万円に対して約1.4倍の経済波及効果をもたらすと試算した。

5. 産業別の経済波及効果

第32回NAHAMラソンの経済波及効果19億7,800万円を産業別にみると、宿泊業が3億400万円と最も大きく、次いで商業の2億9,900万円、運輸業の2億800万円、製造業の2億500万円などとなった（図表6）。

県内離島や県外からの参加者などによる消費や、土産品、食料品、Tシャツなどの製造、材料や商品の流通段階で発生するマージンなどの計上上記産業への波及に寄与している。

図表5 「第32回NAHAMラソン」経済効果試算結果

	【単位:百万円】			就業者誘発数 (人)
	経済効果 (生産誘発額)	粗付加価値 誘発額	雇用者所得 誘発額	
直接効果	1,128	594	317	—
1次間接波及効果	489	257	130	—
2次間接波及効果	361	225	132	—
合計(総合効果)	1,978	1,076	580	217
直接支出額 (波及効果)	1,434 (1.4倍) = 総合効果/直接支出額			

- (注) 1. 直接効果は、直接の支出による効果のことで、直接支出額に沖縄県内での自給率を掛けて求める。
 2. 1次間接波及効果は、原材料を他の産業から購入することによって起こる波及効果。
 3. 2次間接波及効果は、直接効果、1次間接波及効果によって生み出された雇用者所得の増加が個人消費の拡大を通して再び生産を誘発する効果。
 4. 生産誘発額は、直接支出の増加により誘発された各部門の生産額の合計。
 5. 付加価値は、誘発された生産額の中に占める粗付加価値（雇用者所得と営業余剰）。
 6. 端数処理により合計は合わなくなることがある。

6. おわりに

前述したように、第32回NAHAマラソンには県内だけではなく県外からも多くのジョガーが参加した。同大会は認知度の高まりや運営の改善などにより、国内を代表する一大スポーツイベントに成長し、冬場の観光閑散期の入域観光客の誘客に大いに貢献している。

前回調査（第25回大会）と比較すると、参加者数は約3,400人減少（前回調査：約30,000人）したものの、経済波及効果は約2億9,500万円の増額（同：16億8,300万円）となった。要因には、会場設営費など運営費の増額、海外からの参加者数の大幅増加、参加者による消費額の増額などが挙げられる。参加者による消費額が増えた背景には、入域観光客数の増加と観光需要の高まりによりホテルの客室単価が上昇傾向にあることや、海外からの参加者の約8割を占める台湾・香港・中国などアジア諸国の経済成長による消費額の増額などがあると考えられる。



（写真提供）NAHAマラソン協会事務局

引き続き増加が予想される県外・海外からの参加者に対して、空港や宿泊施設から大会会場までのアクセス方法や公共交通機関の利用方法といった情報のわかりやすい提供、外国語を話せるスタッフの確保などもますます求められるだろう。

また、今大会当日の気温は28℃と高かったため、完走率が53.2%と低く多くのリタイア者がでた。リタイア者を輸送するバスの充実や迅速な対応、誘導など運営面の改善も課題である。

今後、同大会開催による経済波及効果をさらに高めるため、会場周辺の店舗や県内の観

光地、特産品などの情報提供、地域交流イベントの開催など、沖縄県をPRする取組みにも力を入れることで、年間を通し安定した入域観光客の誘客や地域活性化につなげることも大切である。

以上

図表6「第32回NAHAマラソン」産業別の経済効果試算結果

産業区分	経済効果 (生産誘発額)	粗付加価値 誘発額	
		雇用者所得 誘発額	
宿泊業	304	142	57
商業	299	174	100
運輸業	208	151	105
製造業	205	66	32
飲食店	188	77	48
対事業所サービス	144	93	48
電気・ガス・水道	103	46	21
不動産	65	54	3
情報通信	63	36	14
公務	63	40	39
金融・保険	35	26	13
その他の産業	301	170	101
合計	1,978	1,076	580

用語の説明及び注意事項

- ・産業連関表とは、ある特定期間における、一定の地域において行われた、財・サービスの流れ（経済循環）を産業相互間の取引関係を表で表したものの。各産業間の取引を基にした数表（産業連関表）を用いて経済効果を試算する。
- ・直接支出額とは、参加者や同伴者などによる県内での宿泊費や飲食費、交通費、娯楽・入場費、土産・買物費などの消費額、会場設営費や記録計測業務費、メダルやTシャツ・ナンバーカード製作費など、NAHA マラソンの開催に要した費用（支出額）のこと。
- ・直接効果とは、直接支出（消費）されたものはすべて県内で生産されたものではないので、それぞれの支出ごとに当該産業の沖縄県内での自給率を掛けて求めたものこと。
- ・1次間接波及効果とは、直接効果で支出されたものは、当該産業だけでなくこうした産業に原材料、サービス等を提供している他の産業の売上増加へと波及していく効果のこと。
- ・2次間接波及効果とは、直接効果、1次間接波及効果において各産業に波及した効果は雇用者の所得へと結びつき、これらの所得が雇用者の消費へと繋がり、消費を通して各産業の生産（売上）を増加させていく効果のこと。
- ・上記の直接効果と1次間接波及効果、2次間接波及効果の合計が経済効果（生産誘発額）

となる。

- ・粗付加価値誘発額とは、いわゆる県内総生産ベース（企業の営業余剰や雇用者の所得など）のこと。

【補注】：本調査で使用した産業連関表について

本件調査では、沖縄県の2011年産業連関表を用いた。産業部門数で表示する部門表は産業分類35部門表をベースにしたが、35部門表には主な支出項目である「宿泊業」や「飲食サービス業」等の部門が明示されていないため、これらの産業部門については、県が公表した基本分類表（404行×350列）から該当する業種を抽出した。さらに、今回の分析において統合しても不都合がないいくつかの部門を統合し、本件調査の分析用に組み替えた。

また、消費されたものはそのすべてが県内で生産されたものではないため、産業連関表における各産業部門の県内自給率は100%ではない。しかし、NAHAMARASONの参加・運営にあたっては、県内宿泊施設に宿泊し、道路輸送や離島間の航空輸送運輸関係会社などは県内企業を利用し、飲食などは県内で消費（支出）されたものとするところから、宿泊業および運輸業、飲食業などの県内自給率は100%とみなし、経済効果試算の際はこれら産業の県内自給率を100%に設定し直して算出した。

生産誘発額を求める式は以下のとおりである。

$$X = [I - (I - \bar{M}) A]^{-1} (I - \bar{M}) F$$

X：各産業部門の財・サービスの生産額

I：単位行列

\bar{M} ：県内需要に対する移輸入係数（対角行列）

A：投入係数（行列）

[]⁻¹：逆行列

F：最終需要額（直接支出額）

※ X（生産額）が、F（最終需要額）に対応する生産誘発額となる

●りゅうぎん調査● 県内の



景気は、拡大の動きが強まる

観光関連では、入域観光客が前年を上回る

建設関連では、セメント・生コンが前年を上回る

6月の県内景気をみると、消費関連では、百貨店は催事効果や外国人観光客による消費が好調だったことから前年を上回り、スーパーは衣料品や住居関連は前年より遅い梅雨明けとなった影響で季節商品の動きが鈍かったことなどから前年を下回った。耐久消費財では、新車販売は普通自動車と軽自動車の需要が増加したことなどから前年を上回り、電気製品卸売はエアコン販売額の減少や太陽光発電システムの需要減少などから前年を下回った。

建設関連では、公共工事は国、市町村、独立行政法人等・その他が増加したことから前年を上回った。建築着工床面積(5月)は居住用が減少したことから前年を下回り、新設住宅着工戸数(5月)は分譲が減少したことから前年を下回った。建設受注額は、公共工事が減少したことから前年を下回った。

観光関連では、入域観光客数は57カ月連続で前年を上回った。国内客、外国客ともに前年を上回った。主要ホテルは、稼働率は前年を下回ったが、売上高、宿泊収入は前年を上回った。

総じてみると、消費関連、観光関連が好調に推移しており、建設関連も概ね好調なことから、県内景気は拡大の動きが強まっている。

消費関連

百貨店売上高は、催事効果や外国人観光客による消費が好調なことなどから3カ月ぶりに前年を上回った。スーパー売上高は、食料品は改装効果や精肉、酒類の売上が伸長したことなどから増加したが、衣料品や住居関連は前年より遅い梅雨明けとなった影響で季節商品の動きが鈍かったことなどから減少し、全店ベースは4カ月ぶりに前年を下回った。新車販売台数は、普通自動車と軽自動車の需要が増加したことなどから2カ月連続で前年を上回った。電気製品卸売販売額は、エアコン販売額の減少や太陽光発電システムの需要減少などから3カ月連続で前年を下回った。

先行きは、高い消費マインドや外国人観光客の増加などから引き続き好調を維持するとみられる。

建設関連

公共工事請負金額は、国、市町村、独立行政法人等・その他発注工事が増加したことなどから、4カ月連続で前年を上回った。建築着工床面積(5月)は、非居住用は増加したが、居住用は減少したことなどから2カ月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数(5月)は、持家、貸家、給与は増加したが、分譲は減少したことなどから4カ月ぶりに前年を下回った。県内主要建設会社の受注額は、民間工事は増加したが、公共工事は減少したことなどから、2カ月連続で前年を下回った。建設資材関連では、セメントは前年を上回り、生コンは公共工事向け出荷の増加などにより前年を上回った。鋼材は受注工事の進捗に動きがみられることなどから前年を上回り、木材は住宅関連工事向け出荷の減少などから前年を下回った。

先行きは、公共工事や新設住宅着工が高水準で推移することが予想され、引き続き概ね好調な動きが続くものとみられる。

観光関連

入域観光客数は、57カ月連続で前年を上回った。国内客は15カ月連続で前年を上回り、外国客は4カ月連続で前年を上回った。外国客は、空路利用客、海路利用客ともに増加した。方面別に寄与度でみると台湾、韓国、香港は増加したが、中国本土は減少した。

県内主要ホテルは、稼働率は前年を下回り、売上高、宿泊収入は前年を上回った。主要観光施設入場者数は4カ月連続で前年を上回った。ゴルフ場は、入場者数、売上高ともに2カ月ぶりに前年を上回った。

先行きは、アジア方面からの外国客の旅行需要は根強いことや、航空路線の拡充などから、好調に推移するものとみられる。

雇用関連・その他

新規求人数は、前年同月比2.6%増となり8カ月連続で前年を上回った。産業別にみると、情報通信業、医療・福祉業などで増加し、宿泊業、飲食サービス業などで減少した。有効求人倍率(季調値)は1.18倍と、前月より0.05ポイント上昇した。完全失業率(季調値)は4.6%と前月より1.3%ポイント悪化した。

消費者物価指数(総合)は、光熱・水道や食料などの上昇により、前年同月比0.6%増と9カ月連続で前年を上回った。

企業倒産は、件数が2件で前年同月を2件下回った。負債総額は7,000万円となり、前年同月比36.4%の減少だった。

2017.6

りゅうぎん調査

増減率(%)

	前年同月比	前年同期比 (2017.4-2017.6)
消費関連		
(1) 百貨店(金額)	4.5	1.4
(2) スーパー(既存店)(金額)	0.1	1.0
(3) スーパー(全店)(金額)	▲ 0.1	0.7
(4) 新車販売(台数)	14.1	3.2
(5) 電気製品卸売(金額)	▲ 0.5	▲ 4.1
建設関連		
(1) 公共工事請負金額(金額)	43.9	23.5
(2) 建築着工床面積(m ²)	(5月) ▲ 13.6	(3-5月) ▲ 7.2
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	(5月) ▲ 3.4	(3-5月) 11.1
(4) 建設受注額(金額)	▲ 11.3	21.6
(5) セメント(トン数)	5.2	7.3
(6) 生コン(m ³)	6.6	10.7
(7) 鋼材(金額)	38.2	27.9
(8) 木材(金額)	▲ 4.7	▲ 7.1
観光関連		
(1) 入域観光客数(人数)	11.8	9.8
うち外国客数(人数)	21.1	19.0
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) P ▲ 2.1 (実数) P 77.7	(前年同期差) P ▲ 0.6 (実数) P 76.9
(3) " 売上高(金額)	P 2.8	P 4.4
(4) 観光施設入場者数(人数)	4.5	5.3
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	1.1	1.0
(6) " 売上高(金額)	4.5	3.7
その他		
(1) 県内新規求人数(人数)	2.6	9.8
(2) 有効求人倍率(季調値)	(実数) 1.18	(実数) 1.14
(3) 消費者物価指数(総合)	0.6	0.5
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差) ▲ 2	(前年同期差) ▲ 4
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(5月) ▲ 3.0	(3-5月) 0.1

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

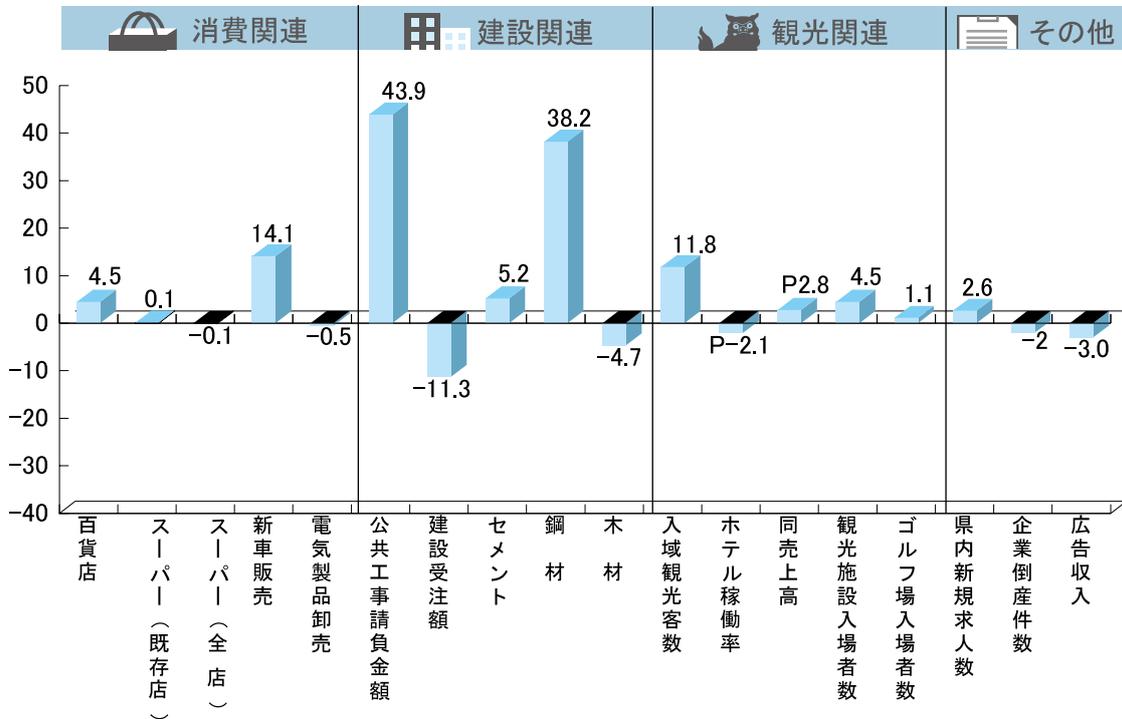
(注2) 百貨店は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

(注3) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

(注4) 主要ホテルは、2016年7月より調査先を26ホテルから25ホテルとした。

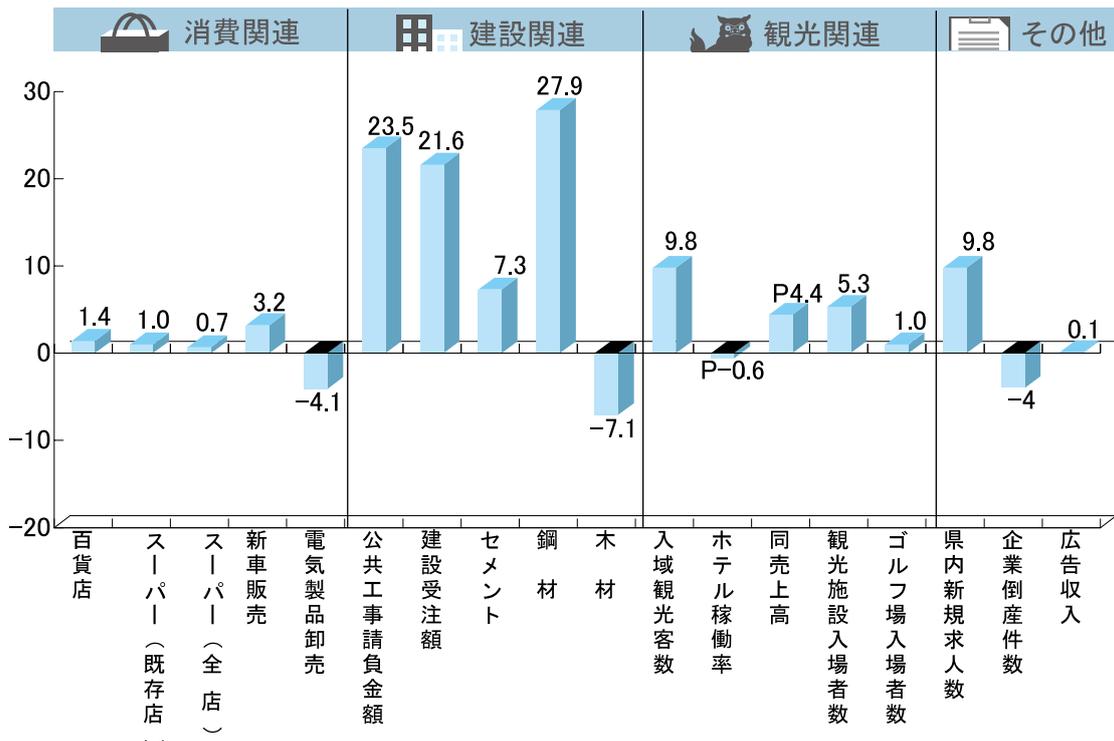
(注5) 2016年7月より企業倒産件数の前年同期差は、3カ月の累計件数の差とする。

項目別グラフ 単月 2017.6



(注) 広告収入は17年5月分。数値は前年比(%)。
 ホテル稼働率(%ポイント)、企業倒産件数(件)は前年差。Pは速報値。

項目別グラフ 3カ月 2017.4~2017.6



(注) 広告収入は17年3月~17年5月分。数値は前年比(%)。
 ホテル稼働率(%ポイント)は前年差。企業倒産件数(件)は3カ月の累計件数の前年差。Pは速報値。

消費関連

建設関連

観光関連

その他

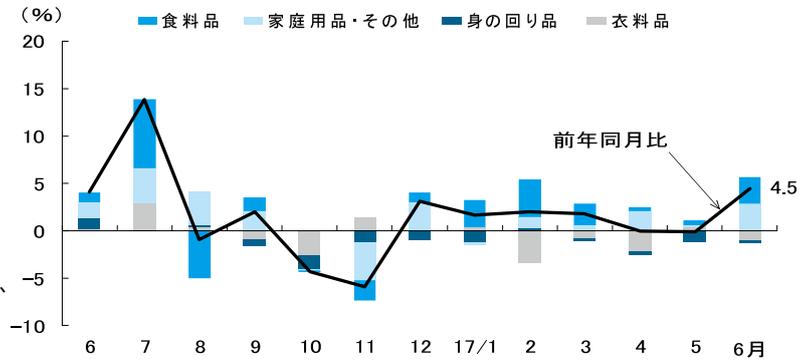
消費関連

① 百貨店売上高 (前年同月比)

※棒グラフは品目別寄与度

3カ月ぶりに増加

- 百貨店売上高は、前年同月比4.5%増と3カ月ぶりに前年を上回った。食料品は催事売上の伸長などから増加し、家庭用品・その他は催事売上や外国人観光客による化粧品の消費が好調だったことなどから増加した。衣料品は前年より遅い梅雨明けとなった影響から婦人服などの動きが鈍く、身の回り品は婦人靴やバッグの売上が苦戦したことなどから減少した。
- 品目別にみると、食料品(同13.4%増)、家庭用品・その他(同8.6%増)は増加したが、身の回り品(同3.5%減)、衣料品(同2.5%減)は減少した。

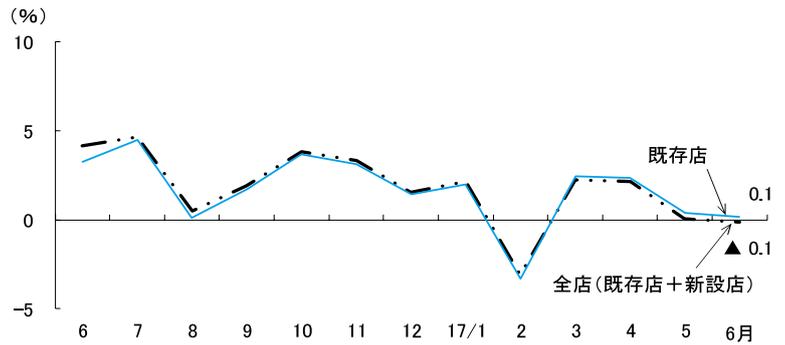


(注)2014年9月より調査先百貨店が一部変更となった。
出所:りゅうぎん総合研究所

② スーパー売上高 (前年同月比)

全店ベースは4カ月ぶりに減少

- スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比0.1%増と4カ月連続で前年を上回った。
- 食料品は、改装効果や精肉や水産、酒類などの売上が伸長し同1.3%増となった。衣料品は、前年より遅い梅雨明けとなった影響で婦人服の動きが鈍かったことなどから同3.6%減となった。住居関連は、エアコンなどの家電や季節商品が苦戦したことなどから同2.9%減となった。
- 全店ベースでは0.1%減と4カ月ぶりに前年同月を下回った。



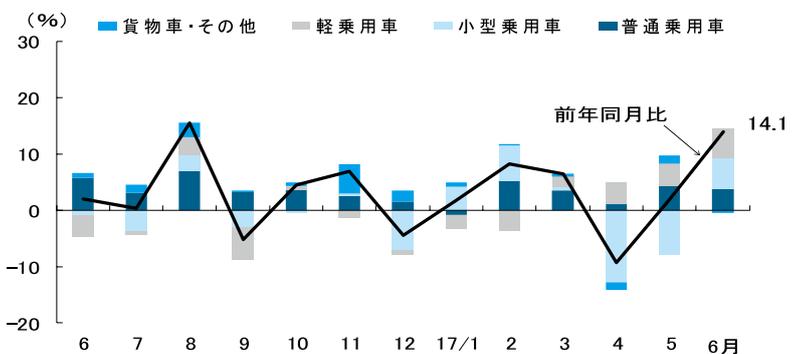
出所:りゅうぎん総合研究所

③ 新車販売台数 (前年同月比)

※棒グラフは車種別寄与度

2カ月連続で増加

- 新車販売台数は6,315台となり、前年同月比14.1%増と2カ月連続で前年を上回った。普通自動車は、普通乗用車が引き続き好調を維持し、小型乗用車がレンタカー需要の伸長などで増加したことなどから前年を上回った。軽乗用車は、自家用車需要の増加などから前年を上回った。
- 普通自動車(登録車)は3,920台(同13.9%増)で、うち普通乗用車は1,161台(同22.7%増)、小型乗用車は2,544台(同13.3%増)であった。軽自動車(届出車)は2,395台(同14.4%増)で、うち軽乗用車1,975台(同16.9%増)であった。



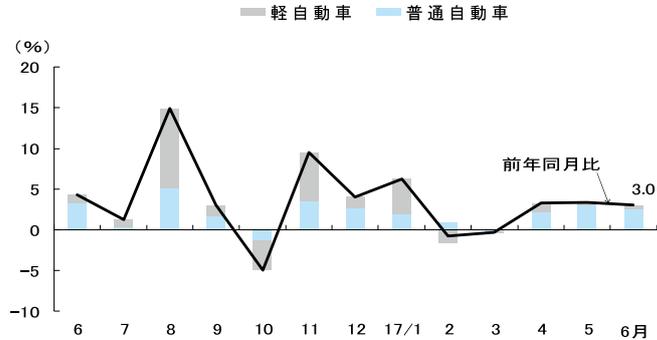
出所:沖縄県自動車販売協会

④ 中古自動車販売台数【登録ベース】

※棒グラフは車種別寄与度

3カ月連続で増加

- ・中古自動車販売台数（普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は1万9,265台で前年同月比3.0%増と3カ月連続で前年を上回った。
- ・内訳では、普通自動車は7,910台（同6.3%増）、軽自動車は1万1,355台（同0.9%増）となった。



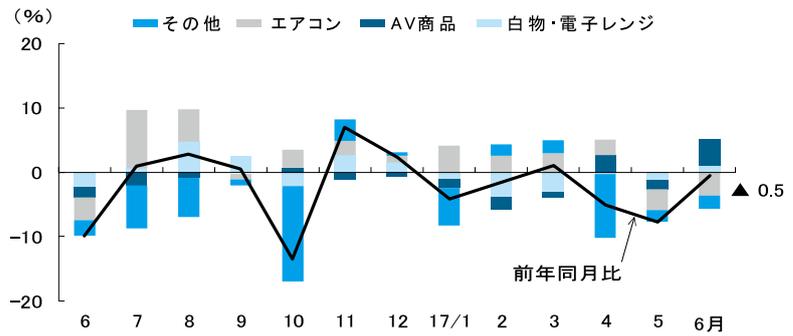
出所：沖縄県中古自動車販売協会 ※登録ベース

⑤ 電気製品卸売販売額（前年同月比）

※棒グラフは品目別寄与度

3カ月連続で減少

- ・電気製品卸売販売額は、前年より梅雨明けが遅かった影響などによるエアコン販売額の減少や、太陽光発電システム需要の減少などから、前年同月比0.5%減と3カ月連続で前年を下回った。
- ・品目別にみると、AV商品ではDVDレコーダーが同76.7%増、テレビが同51.6%増、白物では洗濯機が同11.9%増、冷蔵庫が同4.2%増、エアコンが同12.6%減、太陽光発電システムを含むその他は同4.5%減となった。



出所：りゅうぎん総合研究所

消費
関連

建設
関連

観光
関連

その他

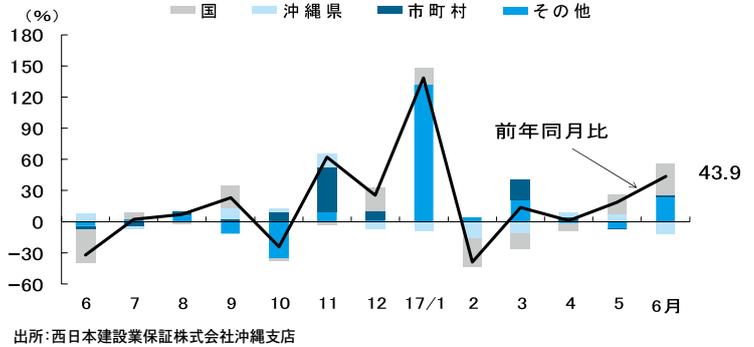
建設関連

① 公共工事請負金額 (前年同月比)

※棒グラフは発注者別寄与度

4カ月連続で増加

- ・公共工事請負金額は、337億300万円で、国、市町村、独立行政法人等・その他発注工事が増加したことから、前年同月比43.9%増となり4カ月連続で前年を上回った。
- ・発注者別では、国(同98.1%増)、市町村(同7.6%増)、独立行政法人等・その他(同528.7%増)は増加し、県(同34.9%減)は減少した。
- ・大型工事としては、(仮称)那覇港総合物流センター新築工事(物流棟・本体)、那覇空港滑走路増設5工区築造工事などがあった。

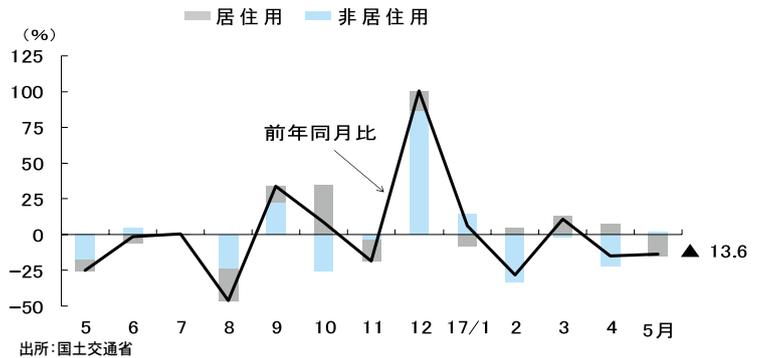


② 建築着工床面積 (前年同月比)

※棒グラフは用途別寄与度

2カ月連続で減少

- ・建築着工床面積(5月)は10万2,821㎡となり、非居住用は増加したが、居住用は減少したことから、前年同月比13.6%減と2カ月連続で前年を下回った。用途別では、居住用は同21.6%減、非居住用は同4.2%増となった。
- ・建築着工床面積を用途別(大分類)にみると、居住用では、居住専用などが減少した。非居住用では、電気・ガス・熱供給・水道業用などが増加し、卸売・小売業用などが減少した。

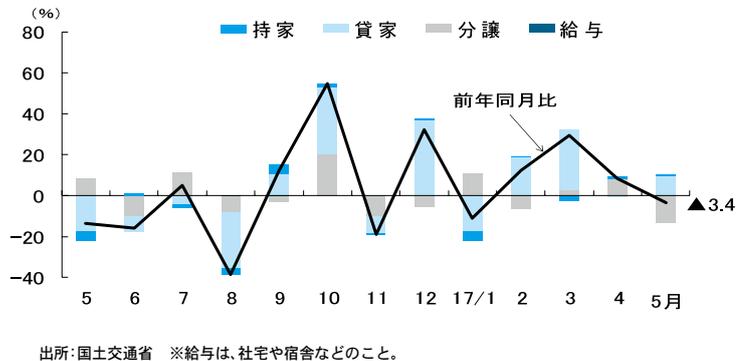


③ 新設住宅着工戸数 (前年同月比)

※棒グラフは利用関係別寄与度

4カ月ぶりに減少

- ・新設住宅着工戸数(5月)は1,048戸となり、持家、貸家、給与は増加したが、分譲は減少したことから、前年同月比3.4%減と4カ月ぶりに前年を下回った。
- ・利用関係別では、持家(221戸)が同3.3%増、貸家(778戸)が同14.1%増、給与(7戸)が同600.0%増と増加し、分譲(42戸)が同77.7%減と減少した。



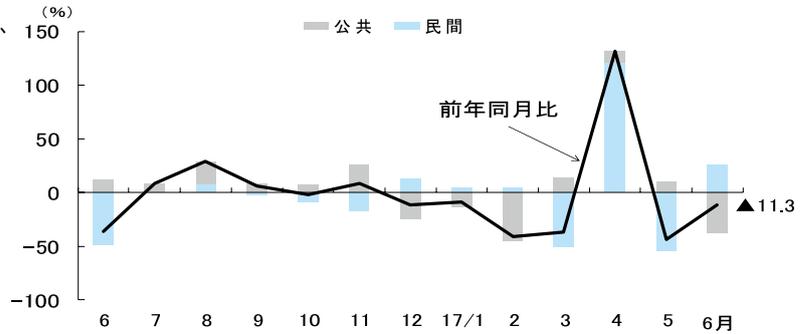
消費関連
建設関連
観光関連
その他

④ 建設受注額 (前年同月比)

※棒グラフは発注者別寄与度

2カ月連続で減少

- ・建設受注額(調査先建設会社:20社)は、民間工事は増加したが、公共工事は減少したことから、前年同月比11.3%減と2カ月連続で前年を下回った。
- ・発注者別では、公共工事(同73.6%減)は4カ月ぶりに減少し、民間工事(同51.3%増)は2カ月ぶりに増加した。

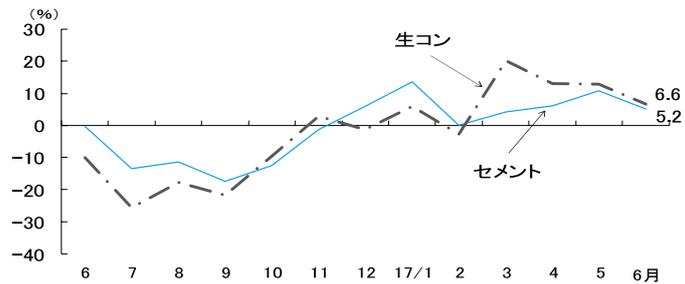


出所:りゅうぎん総合研究所

⑤ セメント・生コン(前年同月比)

セメントは7カ月連続で増加、生コンは4カ月連続で増加

- ・セメント出荷量は7万6,767トンとなり、前年同月比5.2%増と7カ月連続で前年を上回った。
- ・生コン出荷量は13万6,550m³で同6.6%増となり、公共工事向け出荷の増加などから4カ月連続で前年を上回った。
- ・生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、公共施設や空港関連工事向け出荷などが増加し、学校関連工事向け出荷などが減少した。民間工事では、社屋関連工事向け出荷などが増加し、分譲マンション工事向け出荷などが減少した。

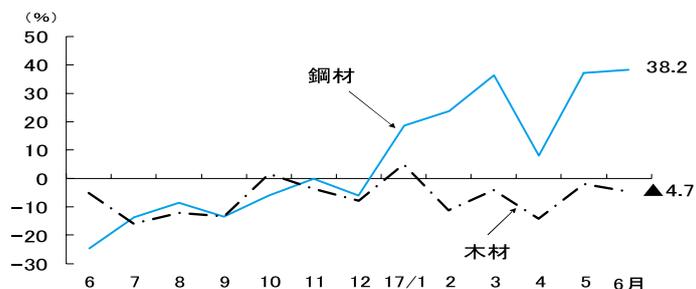


出所:りゅうぎん総合研究所

⑥ 鋼材・木材 (前年同月比)

鋼材は6カ月連続で増加、木材は5カ月連続で減少

- ・鋼材売上高は、受注工事の進捗に動きがみられることから前年同月比38.2%増と6カ月連続で前年を上回った。
- ・木材売上高は、住宅関連工事向け出荷の減少などから同4.7%減と5カ月連続で前年を下回った。



出所:りゅうぎん総合研究所

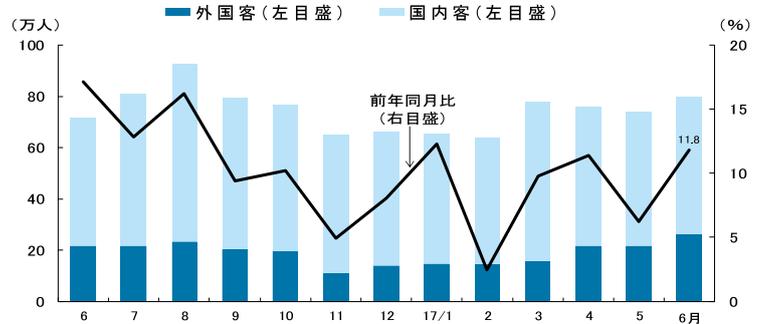


観光関連

① 入域観光客数(実数、前年同月比)

6月の過去最高を更新、各月の過去最高を44カ月連続更新

- ・入域観光客数は、前年同月比11.8%増の79万8,800人と、57カ月連続で前年を上回った。国内客、外国客ともに増加した。国内客は、同7.8%増の53万7,300人となり15カ月連続で前年を上回った。
- ・路線別では、空路は68万3,300人(同9.1%増)と57カ月連続で前年を上回った。海路はクルーズ船の寄港回数増加により11万5,500人(同31.0%増)と2カ月ぶりに前年を上回った。

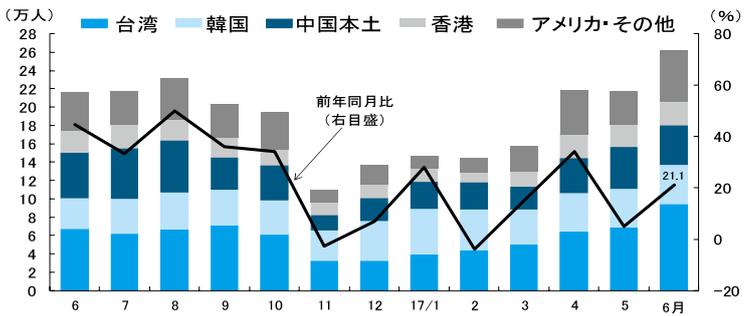


出所:沖縄県観光政策課

② 入域観光客数【外国客】(実数、前年同月比)

4カ月連続で増加

- ・入域観光客数(外国客)は、前年同月比21.1%増の26万1,500人となり、4カ月連続で前年を上回った。空路利用客は航空路線の拡充で前年を上回り、海路利用客はクルーズ船の寄港回数増加により2カ月ぶりに前年を上回った。
- ・国籍別では、台湾9万4,400人(同41.1%増)、韓国4万2,900人(同26.9%増)、中国本土4万2,500人(14.1%減)、香港2万5,600人(同4.9%増)、アメリカ・その他5万6,100人(同35.8%増)であった。

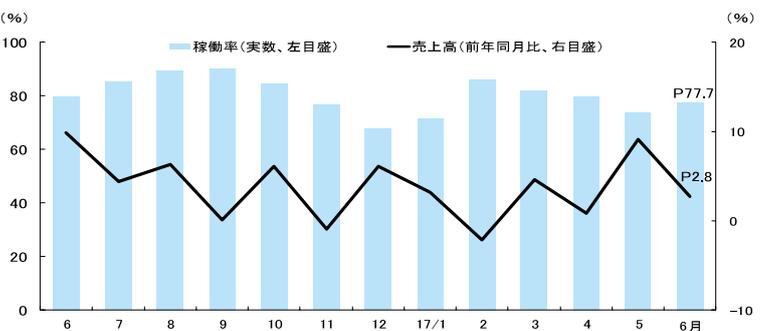


出所:沖縄県観光政策課

③ 主要ホテル稼働率・売上高(実数、前年同月比)

稼働率は2カ月連続で低下、売上高は4カ月連続で増加

- ・主要ホテル(速報値)は、客室稼働率は77.7%となり、前年同月比2.1%ポイント低下し2カ月連続で前年を下回った。売上高は同2.8%増と4カ月連続で前年を上回った。
- ・那覇市内ホテル(速報値)は、客室稼働率は80.6%と同1.7%ポイント上昇し2カ月連続で前年を上回り、売上高は同3.8%増と2カ月連続で前年を上回った。リゾート型ホテルは、客室稼働率は76.6%と同3.6%ポイント低下して2カ月連続で前年を下回り、売上高は同2.5%増と4カ月連続で前年を上回った。



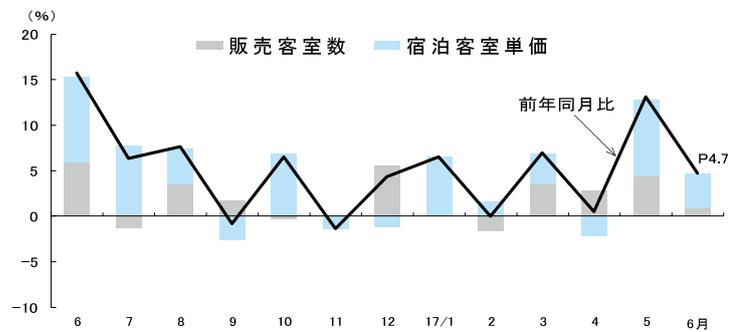
出所:りゅうぎん総合研究所

④ 主要ホテル宿泊収入 (前年同月比)

※棒グラフは客室数・単価別寄与度

4カ月連続で増加

- ・主要ホテル売上高のうち宿泊収入(速報値)は、販売客室数(数量要因)、宿泊客室単価(価格要因)ともに上昇し、前年同月比4.7%増と4カ月連続で前年を上回った。
- ・那覇市内ホテル(速報値)は、販売客室数、宿泊客室単価ともに上昇となり、同4.4%増と2カ月連続で前年を上回った。リゾート型ホテルは、販売客室数、宿泊客室単価ともに上昇となり、同4.8%増と4カ月連続で前年を上回った。

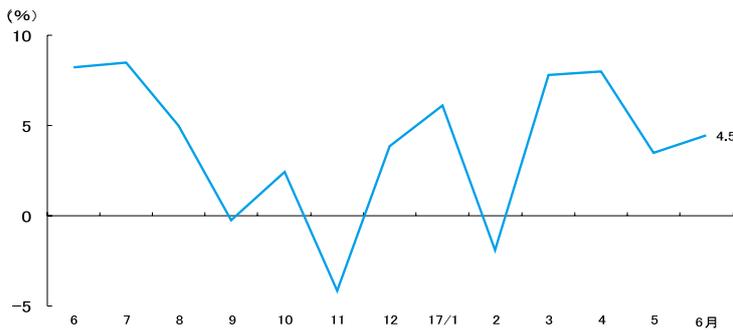


出所:りゅうぎん総合研究所

⑤ 主要観光施設の入場者数(前年同月比)

4カ月連続で増加

- ・主要観光施設の入場者数は、前年同月比4.5%増となり、4カ月連続で前年を上回った。

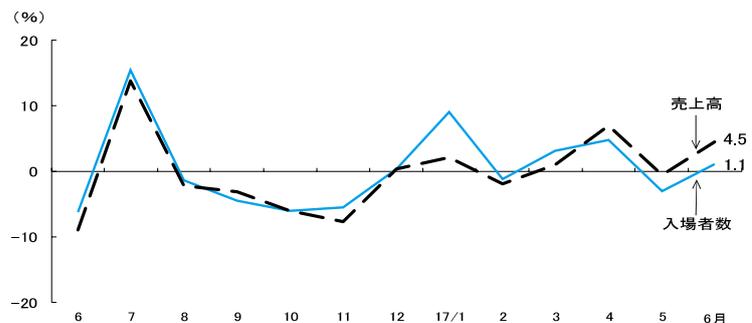


出所:りゅうぎん総合研究所

⑥ 主要ゴルフ場入場者数・売上高(前年同月比)

入場者数、売上高ともに 2カ月ぶりに増加

- ・主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比1.1%増と2カ月ぶりに前年を上回った。県内客は2カ月連続で前年を下回り、県外客は4カ月連続で前年を上回った。
- ・売上高は同4.5%増と2カ月ぶりに前年を上回った。



出所:りゅうぎん総合研究所 (注)調査先は8施設(うち県外客については6施設)からなる。

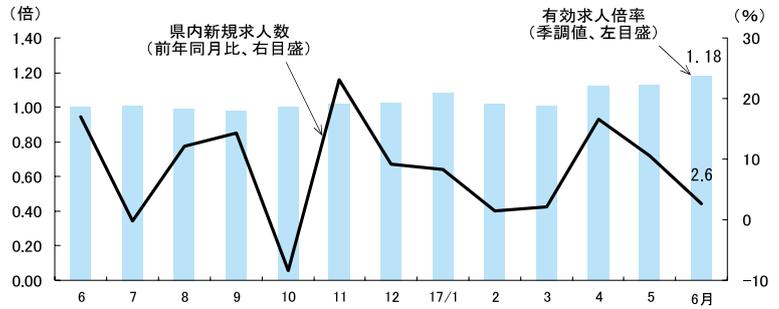


雇用関連・その他

① 雇用関連（新規求人数と有効求人倍率）

新規求人数は増加、有効求人倍率(季調値)は上昇

- ・新規求人数は、前年同月比2.6%増となり8カ月連続で前年を上回った。産業別にみると、情報通信業、医療・福祉業などで増加し、宿泊業、飲食サービス業などで減少した。有効求人倍率(季調値)は1.18倍と、前月より0.05ポイント上昇した。
- ・労働力人口は、72万6,000人で同1.8%増となり、就業者数は、69万2,000人で同1.9%増となった。完全失業者数は3万3,000人で前年同月と同水準となり、完全失業率(季調値)は4.6%と前月より1.3%ポイント悪化した。



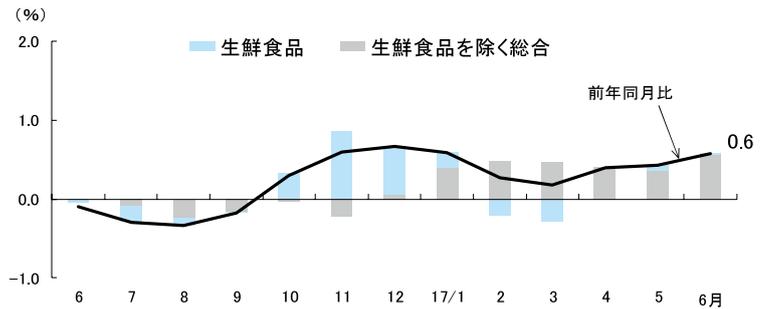
出所:沖縄労働局
(注)有効求人倍率は、2016年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

② 消費者物価指数【総合】(前年同月比)

※棒グラフは品目別寄与度

9カ月連続で上昇

- ・消費者物価指数は、前年同月比0.6%増と9カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合も同0.6%増と前年を上回った。
- ・品目別の動きをみると、光熱・水道や食料などは上昇し、住居等は下落した。

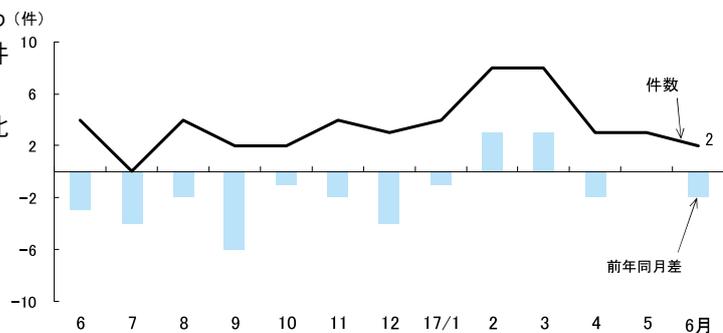


出所:沖縄県(注1)端数処理の関係で寄与度の合計は前年比と一致しないことがある。
(注2)2016年7月より2015年=100に改定された。

③ 企業倒産

件数、負債総額ともに減少

- ・倒産件数は、2件で前年同月を2件下回った。業種別では、サービス業2件(同1件増)であった。
- ・負債総額は、7,000万円となり、前年同月比36.4%の減少だった。



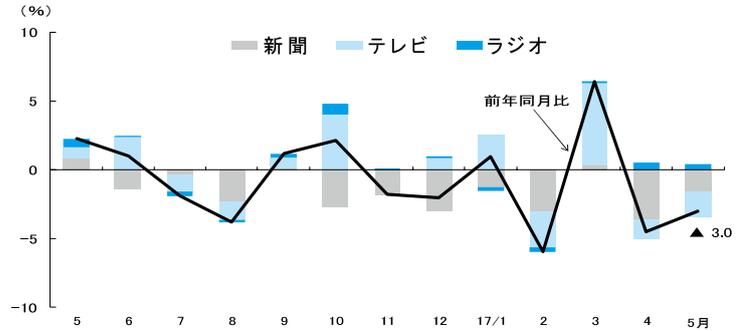
出所:東京商工リサーチ沖縄支店
(注)負債総額1,000万円以上

④ 広告収入【マスコミ】(前年同月比)

※棒グラフはメディア別寄与度

2カ月連続で減少

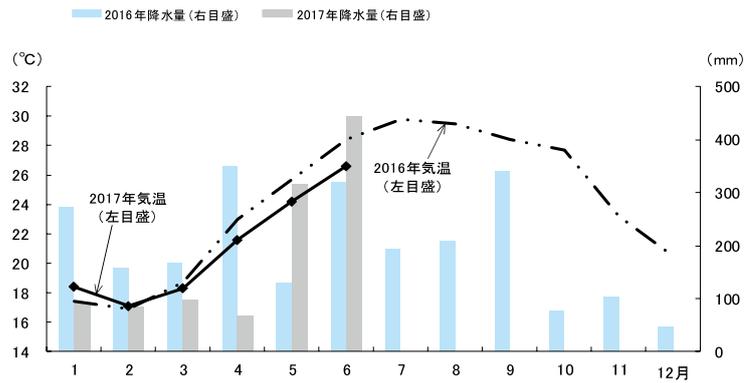
・広告収入(マスコミ:5月)は、前年同月比3.0%減となり、2カ月連続で前年を下回った。



出所:りゅうぎん総合研究所

参考 気象:平均気温・降水量【那覇】

- ・平均気温は26.6℃となり、平年(26.8℃)並みで前年同月(28.4℃)より低かった。降水量は444.5mmと前年同月(319.5mm)より多かった。
- ・沖縄地方は、6月中旬までは梅雨前線などの影響で曇りや雨の日が多く、下旬は太平洋高気圧に覆われて晴れの日が多かった。梅雨明けは6月22日ごろとみられ、平年より1日遅く、前年より6日遅い梅雨明けとなった。平年より降水量はかなり多く、日照時間はかなり少なかった。



出所:沖縄気象台

消費
関連

建設
関連

観光
関連

その他



勝連半島整備

独自の魅力 発展に期待

琉球銀行 屋慶名支店長
喜友名 朝夫

1971年6月5日、沖縄本島屋慶名と平安座島が海中道路で結ばれました。それは平安座の人々にとってまさに悲願でした。

平安座と屋慶名の約4キロの海域は浅瀬が広がり、干潮時には広大な干潟が浮かび上がる珍しい地域です。そこを徒歩やトラックで行き来していた時期があったことはよく知られています。

61年から地元の人々によって道路建設が進められましたが、2度の台風襲来によって積み上げた道路が流されるなど困難が続きました。海中道路建設に転機が訪れたのは、68年6月、ガルフ社の原油ターミナルの誘致決定でした。これによりガルフ社負担で長さ4,750メートル、幅員8メートルの海中道路が建設され、平安座島は離島苦から解消されました。

今や海中道路は、多くの車が行き交い、人々の生活、文化、経済、観光に大きな影響を与えています。

海中道路を望む勝連半島は、本年度から世界遺産「勝連城跡」の周辺整備事業が本格的に進められています。「勝連城跡周辺文化観光拠点整備基本計画」では、「肝高の歴史浪漫を感じる交流空間の創出」を将来像として、史跡内の整備以外にも海中道路、伊計島などの観光拠点と連動した観光ルート作りが検討されています。

勝連半島には、海中道路建設に尽力した平安座の人々の思いをはじめ、四つの島々の団結力という大きな財産があります。整備事業の進展によって独自の魅力ある発展が期待されています。

勝連城跡の頂上より「勝連城跡周辺文化観光拠点エリア」を望む



(うるま市提供)



一万人のエイサー踊り隊

10万人集う夏の風物詩

琉球銀行 壺屋支店長
大城 博二

「一万人のエイサー踊り隊」は、毎年8月の第1日曜日に那覇市国際通りで行われる県内最大級のエイサーのイベントです。ことしで23回目を迎え、毎回約4千人が参加します。地域の青年会エイサー団体、創作エイサー団体、一般参加の3パターンがあり、国際通りの約1.6キロメートルをステージに演舞を披露しながら歩きます。

1995年から始まったこのイベントは、今や沖縄の夏の風物詩となり、期間中約10万人の観客が集まる規模に発展しました。金曜日が前々夜祭、土曜日が前夜祭、日曜日がパレードと3日間楽しめるイベントとなっています。

90年代、客が国際通りから郊外型の商業施設に流れる状況に危機感を持った商店街の経営者や通り会の青年部が立ち上がり、活性化策として取り組んだのが「一万人のエイサー踊り隊」の始まりといえます。ちょうど、この頃からエンターテインメント性の高い創作エイサーが広がり始め、その披露の場としてのニーズを捉えたようです。

愛好会などのチームによる創作エイサーや、各地域の青年部で継承される伝統エイサーは、いつ見ても感動を与えてくれます。また、一般参加の老若男女が通りを埋め尽くして一斉に踊るエイサーは、まさに圧巻です。

ことしの「一万人のエイサー踊り隊」は、8月6日に開催されます。飛び入り参加の企画も準備されていますので、一緒に熱い感動を体験してみたいかがでしょうか。

「一万人のエイサー踊り隊」参加団体数

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
一般参加団体	46	32	30	34	32
創作団体	16	18	19	22	20
青年会	10	10	10	10	10
計	72	60	59	66	62

※ 2017年は目標値

資料：夏祭り in 那覇実行委員会事務局



オープン API

新しい金融サービスへ

琉球銀行総合企画部 調査役
 多和田 真丈

IT を活用した金融サービス「フィンテック」の本丸といわれる「オープン API」が注目を集めています。ことし5月26日、オープン API の促進を盛り込んだ改正銀行法が成立しました。法整備によって金融機関がオープン API に取り組む舞台が整いつつあります。

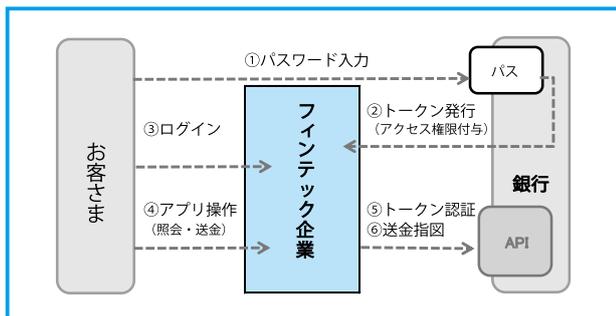
オープン API とは、金融機関がオープンネットワーク上で他の事業者と安全な環境を保ちながら、データ連携を可能にする技術です。具体的には、金融機関がシステムの接続仕様をフィンテック企業に公開することを指します。

これにより金融機関のシステムとフィンテック企業がつながり、フィンテック企業が開発・提供するアプリ上で安全かつ利便性の高い金融サービスをお客さまに提供できるようになります。

例えば、フィンテック企業が開発した貯蓄アプリと銀行口座の連携が可能になるため、お客さまは自身の銀行口座の預金と連動した貯蓄アプリが利用できるようになります（もちろんお客さまの事前承諾が前提です）。

これまでの金融機関のサービスは“自前主義”とやゆされるように、金融機関と外部サービスの組み合わせはほとんど存在していませんでした。今後はオープン API が促進されることにより、新たに無数のサービスの組み合わせが作り出され、新しいサービスの誕生と顧客利便性の向上が進むでしょう。既存の金融インフラとフィンテック企業の技術が融合するオープン・イノベーションの加速が期待されています。

オープン API のイメージ図



ホテルの人不足

効率化と環境整備必要

琉球銀行法人営業部 調査役
 長嶺 伸

入域観光客数が前年同月の実績を 56 カ月連続して上回り、これを受けてホテルの稼働率が好調に推移しています。

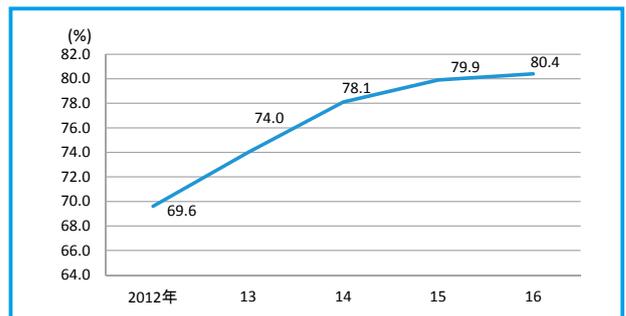
グラフのとおり県内主要ホテルの稼働率は年を追うごとに上昇し、ことしに入っても 80% 前後の高い水準を維持しています。客室単価も上昇傾向にあるようです。ホテル業界は、入域観光客数が落ち込んだリーマンショックや東日本大震災後の時期と比較すると、かなり環境が良くなってきています。

政府は、経済政策として外国人観光客の増加に力を入れており、その中で沖縄観光は順調に伸びています。ホテル業界の先行きに明るさが広がっていることから、新たなホテル建設の計画が数多く報道されています。世界的なブランド力のあるホテルや、魅力的な施設を有するホテルが増えることで供給体制が充実する一方、人材の確保が難しくなってきたという課題も出てきています。

すでに多くのホテルで人手不足による業務への支障がみられるようです。「宴会の受注があったが、人手が足りないため仕方なくお断りした」という機会損失が生じている例。客室清掃を請け負う会社でも人手不足が生じ、新規ホテルの業務受託に対応できないといった事例も聞きます。

人手不足の解消に向けて、業務の機械化や効率化を進めるとともに、人材確保に向けた職場環境の整備が一層重要になっているようです。沖縄観光の発展のために現在、官民挙げての工夫が求められています。

主要ホテルの稼働率



資料：りゅうぎん総合研究所調べ



那覇市魚のマグロ

観光客増で消費も拡大

琉球銀行 那覇市役所内出張所長
西平 弘

県魚といえばグルクン（和名・タカサゴ）です。では、那覇市の市魚をご存じでしょうか。答えは「マグロ」です。2010年8月、市魚に指定されました。

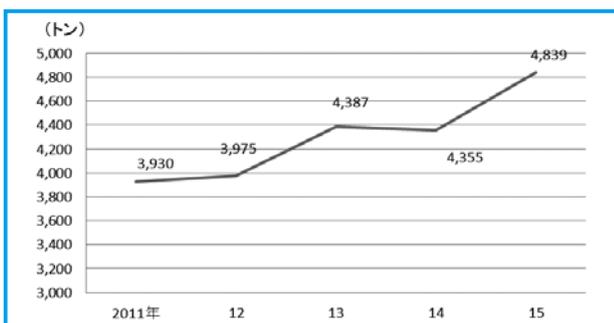
沖縄の近海はマグロの漁場が多く、水揚げ量は全国で7位と有数なマグロの産地となっています。その約5割が那覇市で水揚されており、那覇市はまさにマグロの供給基地といえます。グラフは那覇市のマグロ類（クロマグロ・ビンナガ・メバチ・キハダ）の漁獲量の推移ですが、増加傾向にあることが分かります。生産額は12年が33億6800万円、13年が36億9500万円、14年が約36億6100万円となっています。

漁獲したマグロは、漁船内で高鮮度に保存された状態で水揚げされます。このうち泊市場の仲買人の目利きにかなったマグロが「美ら海まぐろ」として選定され、県内外に広く流通しブランド化が図られています。

一方、マグロを取り巻く環境は年々変化しており、さまざまな課題も抱えています。食生活の多様化による水産物消費の低下、漁業従事者の後継者不足、漁港設備の老朽化などです。

これらの課題に対して那覇市では、消費拡大に向けた牧志公設市場や「泊いゆまち」の活用、漁業従事者の所得向上を目的とした設備近代化資金への補助金交付など諸施策を講じています。最近ではこうした施策の実施とインバウンドを含めた観光客の増加が、マグロの消費量の増加につながってきているそうです。

那覇市のマグロ類の漁獲量



出所：那覇市統計書





経理部門の基本有用情報
太陽グラントソントン
今月の経営情報 2017年5月

今回のテーマ

「法人寄附金」と「企業版ふるさと納税」の関係

<寄附金税制>

寄附金とは法人が行った金銭その他の資産の贈与または経済的な利益の無償の供与をいい、次の寄附金区分ごとに損金算入限度額が設けられています。

区分	損金算入限度額※
国、地方公共団体に対する寄附金 財務大臣の指定した寄附金(例 国立大学法人、公立大学法人等)	全額損金算入
特定公益増進法人及び認定特定非営利活動法人等に対する寄附金	(所得基準額①+資本基準額②)×1/2 ①所得の金額×6.25/100 ②資本金等の額×3.75/1000
一般の寄附金	(所得基準額①+資本基準額②)×1/4 ①所得の金額×2.5/100 ②資本金等の額×2.5/1000
国外関連者に対する寄附金	全額損金不算入

※：資本を有する普通法人を前提としています。

なお、贈与または無償の供与であっても「事業経費（広告宣伝費、交際費、福利厚生費等）と認められるもの」および「子会社等の整理をする場合の損失負担」、「役員が個人として負担すべき費用」等の一定の費用は寄附金から除かれます。

<企業版のふるさと納税>

平成 28 年 4 月 20 日（改正地域再生法施行日）寄附分から企業版ふるさと納税（※1）が導入されました。これは法人が国の認定を受けた地方公共団体の地方創生事業（※2）に対し寄附（特定寄附金）を行った際に、上記の損金算入措置（国、地方公共団体に対する寄附金）に加えて、新たに寄附額の 3 割相当分が税額控除（※3）される税制上の優遇措置です。最大で寄附額の約 6 割相当の税負担が軽減されます。

※1 平成 28 年 4 月 20 日から平成 32 年 3 月 31 日までの間に支出する特定寄附金が対象です。

※2 対象事業は、内閣府地方創生推進事務局のウェブサイトで確認ができます。

※3 税額控除額は下記通りです。

	事業税	地方税	法人税
税額控除額	寄附金額×10%	寄附金額×20%	次のいずれか少ない金額 ・地方税（事業税は含まない）で 控除しきれなかった金額 ・寄附金額×10%
（上記限度額）	（事業税額×15%（平成31年9月30日までの支出分：事業税額×20%））	（法人税割額×20%）	（法人税額×5%）

お見逃しなく！

自社の本社が所在する地方公共団体への寄附については、企業版ふるさと納税の対象となりません。この場合の本社とは、地方税法における「主たる事務所又は事業所」を指します。

2017年2月13日開始

 琉球銀行

ATMで宝くじ はじめました



ATMでカンタン購入!

当せん金も自動振込!


ロトセブン


ロトシックス


ミニロト


ナンバーズフォー


ナンバーズスリー

詳しくは、りゆうぎん窓口またはHPまで

平成29年2月13日現在

沖 縄

7.11 株式会社前田産業(前田産業ホテルズ)は、新ホテル「アラマハイナ コンドホテル」と商業エリア「オキナワ ハナサキマルシェ」を併設した、リゾートエリア「マハイナ オキナワン ヴィレッジ」を18年12月に開業することを発表した。

7.11 東京商工リサーチ沖縄支店によると、17年上半期の県内企業倒産件数(負債総額1,000万円以上)は前年同期比1件増の28件、負債総額は同7.8%減の32億5,800万円となった。倒産件数は建設業が小康状態で2年連続20件台、負債総額は過去2番目に少ない記録となった。

7.15 株式会社リウボウストアは、古島団地跡地に建設された複合商業施設「アクロスプラザ古島駅前」内に、「リウボウフードマーケット古島マルシェ」をオープンした。スーパーマーケット「りうぼう」の14番目となる店舗で、デパートリウボウの銘店ギフトショップや「だいこんの花」の惣菜売場も出店した。

7.20 沖縄地区税関が発表した管内貿易概況(速報)によると、17年上半期(1-6月)の輸出額は、前年同期比18.0%減の135億800万円と5期連続で減少し、輸入額は同14.8%減の930億8,200万円と6期連続で減少した。差引額は795億7,400万円の入超となった。

7.21 県文化観光スポーツ部観光政策課が発表した、修学旅行入込状況調査結果によると、16年の1年間に修学旅行で沖縄県に訪れた学校数は前年比1.7%増の2,514校、人数は同0.7%増の44万2,113人となり、過去3番目の入込数となった。

7.21 県文化観光スポーツ部観光政策課は17年度「ビジットおきなわ計画」を発表し、17年度は入域観光客数950万人(前年度比8.3%増)、うち外国人観光客数265万人(同24.4%増)、観光収入7,504億円(同13.6%増)を目標とした。

全国・海外

7.4 総務省が発表した、ふるさと納税に関する現況調査結果によると、16年度のふるさと納税の受入額は約2,844億円(前年度比72.1%増)、受入件数は約1,271万件(同75.1%増)となった。受入金額が1位だった自治体は宮崎県都城市(約73億円)だった。

7.6 日本とEU(欧州連合)は、日EU経済連携協定(EPA)および戦略的パートナーシップ協定(SPA)について大枠合意に達した。EPAには、日本からEUへの輸出では、現行税率10%の乗用車の関税を8年目に撤廃、EUから日本への輸入では、ワインの関税即時撤廃などの内容が盛り込まれた。

7.10 株式会社帝国データバンクの発表によると、13年1月から17年6月末までの4年半で発生した「人手不足倒産」の累計件数は290件だった。半期別でみると、17年上半期は49件(前年同期比44.1%増)と、2年連続で前年同期を上回り、13年上半期の2.9倍に増加した。

7.19 観光庁が発表した訪日外国人消費動向調査によると、16年4-6月期の訪日外国人旅行消費額は前年同期比13.0%増の1兆776億円だった。また、訪日外国人1人当たりの旅行支出は同6.7%減の14万9,248円となった。

7.27 中央最低賃金審議会の小委員会は、17年度の最低賃金(時給)の引上げ額について、全国加重平均で25円(昨年度は24円)を目安とすることを決めた。沖縄県の引上げ額の目安は22円となる。

7.28 財務省は、17年4-6月における冷凍牛肉の輸入数量が関税の緊急措置に係る輸入基準数量を超えたため、17年8月1日から18年3月31日までの間、EPA税率の適用を受けない冷凍牛肉について関税の緊急措置を発動することを発表した。これにより関税率は38.5%から50.0%に引き上げられる。

沖縄県内の主要経済指標

暦年	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全店)	電気製品 卸売額	新車販売 台数	中古自動車 販売台数	公共工事請負額		建築着工床面積	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2014	6.9	2.5	3.3	▲ 6.2	7.8	4.8	294,689	10.5	2,098	▲ 1.8
2015	14.5	3.1	5.6	▲ 6.9	▲ 4.3	2.3	321,300	9.0	2,037	▲ 2.9
2016	2.7	3.4	4.4	0.7	2.5	4.2	333,988	3.9	2,103	3.2
2016 5	1.8	5.4	6.1	7.0	20.5	13.8	14,261	16.8	119	▲ 25.3
6	4.1	3.3	4.1	▲ 9.9	2.0	4.3	23,421	▲ 31.8	188	▲ 1.2
7	13.9	4.5	4.7	1.0	0.4	1.2	34,156	2.0	163	0.3
8	▲ 0.9	0.1	0.5	2.9	15.6	14.9	24,997	7.0	120	▲ 46.2
9	2.0	1.7	1.9	0.5	▲ 5.2	3.1	37,867	22.8	213	33.9
10	▲ 4.3	3.7	3.8	▲ 13.4	4.5	▲ 5.0	36,683	▲ 24.1	209	8.9
11	▲ 5.9	3.1	3.3	7.0	6.9	9.5	24,026	62.2	151	▲ 18.6
12	3.1	1.4	1.6	2.4	▲ 4.4	4.0	23,920	25.1	270	100.5
2017 1	1.7	2.0	2.2	▲ 4.2	1.8	6.3	29,148	138.9	228	6.2
2	2.0	▲ 3.3	▲ 3.1	▲ 1.5	8.2	▲ 0.8	27,499	▲ 38.6	111	▲ 28.2
3	1.8	2.4	2.2	1.1	6.5	▲ 0.3	45,553	14.0	133	10.8
4	▲ 0.0	2.4	2.2	▲ 5.1	▲ 9.2	3.3	17,823	0.7	155	▲ 14.9
5	▲ 0.1	0.4	0.0	▲ 7.7	1.9	3.4	16,886	18.4	103	▲ 13.6
6	4.5	0.1	▲ 0.1	▲ 0.5	14.1	3.0	33,703	43.9	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 百貨店売上高は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

暦年	新設住宅着工戸数		建設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼材 売上高	木材 売上高	観光施設 入場者数	ゴルフ場 入場者数	広告 収入
	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
2014	15,426	▲ 7.2	10.7	18.3	4.6	9.4	9.1	6.7	0.7	4.0
2015	16,136	4.6	22.7	3.4	▲ 1.2	▲ 11.0	▲ 5.0	6.2	4.1	▲ 1.2
2016	16,201	0.4	7.5	▲ 7.6	▲ 14.2	▲ 12.6	▲ 6.6	2.6	▲ 2.9	0.3
2016 5	1,085	▲ 13.5	5.2	▲ 0.7	▲ 3.6	▲ 14.5	0.6	6.3	0.5	2.3
6	1,535	▲ 16.0	▲ 36.4	▲ 0.3	▲ 10.1	▲ 24.6	▲ 5.2	8.2	▲ 6.3	1.0
7	1,432	5.1	8.4	▲ 13.4	▲ 25.6	▲ 13.7	▲ 15.9	8.5	15.5	▲ 1.9
8	1,082	▲ 38.7	29.0	▲ 11.4	▲ 17.7	▲ 8.6	▲ 12.2	5.0	▲ 1.4	▲ 3.8
9	1,714	12.2	5.8	▲ 17.3	▲ 21.7	▲ 13.5	▲ 13.3	▲ 0.3	▲ 4.5	1.2
10	1,731	54.8	▲ 2.0	▲ 12.4	▲ 9.7	▲ 6.2	1.5	2.4	▲ 6.0	2.1
11	1,057	▲ 19.1	8.8	▲ 1.3	2.9	▲ 0.1	▲ 3.6	▲ 4.2	▲ 5.6	▲ 1.8
12	1,728	32.3	▲ 11.6	5.8	▲ 1.3	▲ 6.1	▲ 8.0	3.9	0.3	▲ 2.0
2017 1	1,215	▲ 11.1	▲ 9.1	13.6	5.9	18.6	5.0	6.1	9.1	1.0
2	1,125	12.5	▲ 41.1	0.1	▲ 2.8	23.6	▲ 11.3	▲ 1.9	▲ 1.2	▲ 6.0
3	1,375	29.5	▲ 37.1	4.1	20.1	36.4	▲ 4.1	7.8	3.2	6.4
4	1,528	8.4	131.6	6.1	12.9	8.1	▲ 14.3	8.0	4.8	▲ 4.5
5	1,048	▲ 3.4	▲ 43.9	10.8	12.9	37.2	▲ 1.9	3.5	▲ 3.1	▲ 3.0
6	-	-	▲ 11.3	5.2	6.6	38.2	▲ 4.7	4.5	1.1	-
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

暦年	入域観光客数		入域観光客数のうち外国客		ホテル稼働率(実数)		ホテル売上高(前年比)		鉱工業生産指数(季調値)	
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	2010年=100	前年比
2014	7,058.3	10.1	893.5	62.2	79.0	77.8	5.1	5.0	104.6	2.0
2015	7,763.0	10.0	1,501.2	68.0	81.8	78.9	4.5	7.2	100.7	▲ 3.7
2016	8,613.1	11.0	2,082.1	38.7	P82.1	79.3	P3.3	4.1	95.1	▲ 5.6
2016 5	697.1	14.0	206.5	54.5	74.2	73.5	▲ 3.6	▲ 1.9	84.5	▲ 9.0
6	714.4	17.1	215.9	44.7	79.2	80.2	8.4	10.5	93.1	▲ 7.0
7	805.8	12.9	217.3	33.3	84.6	85.9	9.1	3.3	96.7	▲ 9.4
8	926.9	16.2	232.0	50.0	88.6	90.3	6.0	6.4	92.0	▲ 8.3
9	793.0	9.4	203.4	36.0	89.9	90.8	▲ 2.0	0.8	93.3	▲ 1.6
10	767.9	10.2	194.7	34.2	83.0	85.6	5.9	6.2	103.8	▲ 0.9
11	650.2	4.9	110.2	▲ 2.8	80.8	74.6	▲ 5.6	1.6	97.7	▲ 1.3
12	663.0	8.1	137.2	6.9	77.0	63.1	8.0	5.1	105.6	3.2
2017 1	653.0	12.3	147.2	28.1	77.6	68.2	0.6	4.5	95.6	9.8
2	637.9	2.5	144.1	▲ 3.9	87.7	85.1	▲ 4.0	▲ 1.2	84.9	2.6
3	778.5	9.8	158.4	14.9	84.2	80.6	3.5	5.1	115.3	10.8
4	752.9	11.4	217.6	34.2	81.0	79.2	▲ 1.2	1.6	106.0	12.4
5	740.6	6.2	216.8	5.0	P79.7	70.9	P7.7	9.6	91.5	4.9
6	798.8	11.8	261.5	21.1	P80.6	76.6	P3.8	2.5	-	-
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ				県企画部統計課	

注) ホテルは、2016年7月より調査先が26ホテルから25ホテルとなった。

注) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。 2013年11月より2010年=100に改定された。

暦年	企業倒産件数	負債総額		消費者物価指数	失業率(季調値)	就業者数	有効求人倍率(季調値)	新規求人数(県内)	通関輸出	通関輸入
		百万円	前年比							
2014	78	10,112	▲ 73.7	2.5	5.4	0.5	0.69	14.7	80,589	380,584
2015	68	10,387	2.7	0.6	5.2	2.9	0.84	12.1	42,785	267,346
2016	42	5,158	▲ 50.3	0.1	4.4	2.3	0.97	10.3	27,688	176,881
2016 5	3	122	▲ 61.0	▲ 0.2	5.1	1.2	0.97	15.7	3,740	12,197
6	4	110	▲ 79.9	▲ 0.1	5.0	0.7	1.00	16.9	3,841	20,926
7	0	0	▲ 100.0	▲ 0.3	4.5	0.5	1.01	▲ 0.1	996	11,607
8	4	143	▲ 95.1	▲ 0.3	3.5	1.4	0.99	12.1	1,166	19,293
9	2	240	▲ 63.0	▲ 0.2	3.6	2.3	0.98	14.4	1,153	7,114
10	2	270	▲ 18.9	0.3	3.9	2.7	1.00	▲ 8.4	2,528	8,372
11	4	770	15.8	0.6	4.4	1.3	1.02	23.2	3,890	11,864
12	3	200	▲ 78.2	0.7	3.5	5.0	1.03	9.2	1,752	9,550
2017 1	4	141	▲ 62.4	0.6	3.5	3.7	1.08	8.3	1,293	14,873
2	8	760	169.5	0.3	4.1	1.3	1.02	1.5	1,365	7,919
3	8	1,766	▲ 13.9	0.2	4.1	0.7	1.01	2.1	6,192	17,651
4	3	130	▲ 78.2	0.4	3.4	3.1	1.12	16.7	1,305	23,669
5	3	391	220.5	0.4	3.3	2.4	1.13	10.6	1,505	13,804
6	2	70	▲ 36.4	0.6	4.6	1.9	1.18	2.6	1,855	15,124
出所	東京商工リサーチ沖縄支店			県企画部統計課		沖縄労働局		沖縄地区税関		

注) 消費者物価指数は、2016年7月より2015年=100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2015年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

沖縄県内の金融統計

年度	銀行券発行額	銀行券還収額	銀行券増減 (▲還収超)	貸出金利 (地銀3行)	手形交換高(金額は億円)				不渡実数 (金額)	不渡発生率
	億円	億円	億円	%	千枚	前年比	金額	前年比	百万円	%
2014FY	3,140	4,405	▲ 1,320	1.955	253	▲ 5.4	4,162	▲ 5.8	349	0.084
2015FY	3,247	4,470	▲ 1,225	1.822	245	▲ 3.1	4,129	▲ 0.8	331	0.080
2016FY	2,830	4,284	▲ 1,452	1.628	229	▲ 6.6	3,767	▲ 8.8	138	0.037
2016 5	161	479	▲ 317	1.723	22	15.7	388	27.2	27	0.069
6	201	329	▲ 127	1.696	21	▲ 13.9	346	▲ 16.8	5	0.015
7	222	356	▲ 133	1.683	18	▲ 17.0	270	▲ 27.5	13	0.049
8	257	402	▲ 144	1.669	22	9.9	397	19.6	1	0.001
9	182	404	▲ 221	1.658	19	▲ 5.8	306	▲ 15.2	26	0.084
10	228	336	▲ 107	1.648	18	▲ 0.1	286	3.1	2	0.008
11	203	315	▲ 111	1.639	18	▲ 13.2	271	▲ 27.5	1	0.003
12	541	171	370	1.628	18	▲ 13.2	271	▲ 27.5	1	0.003
2017 1	111	562	▲ 450	1.620	18	1.2	299	4.7	1	0.004
2	206	301	▲ 95	1.613	18	▲ 16.4	283	▲ 18.5	8	0.030
3	225	376	▲ 151	1.596	20	▲ 6.8	339	▲ 8.9	44	0.130
4	287	295	▲ 8	1.600	16	▲ 7.9	286	▲ 3.7	42	0.147
5	165	467	▲ 301	1.584	21	▲ 2.9	370	▲ 4.4	33	0.090
6	-	-	-	-	20	▲ 7.2	331	▲ 4.2	1	0.002
出所	日本銀行那覇支店				那覇手形交換所					

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額) ÷ 手形交換高(金額) × 100

年度	地銀3行預金量 (信託勘定含む未残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む未残)		県内金融機関 の預貯金残高 (郵便貯金は含まない)		沖縄振興開発 金融公庫融資量 (未残)		沖縄県信用保証協会 債務残高	
	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2014FY	44,575	5.5	31,332	5.5	42,849	3.2	8,152	▲ 0.3	1,391	▲ 8.8
2015FY	45,359	1.8	33,039	5.4	44,713	4.3	8,057	▲ 1.2	1,278	▲ 8.1
2016FY	45,634	0.6	34,673	4.9	46,088	3.1	8,199	1.8	1,201	▲ 6.8
2016 5	46,155	2.5	32,543	5.9	46,066	3.3	7,914	▲ 1.9	1,213	▲ 7.7
6	46,170	2.0	32,754	6.3	46,779	3.4	7,869	▲ 1.8	1,211	▲ 7.0
7	45,893	1.8	32,834	6.0	46,884	3.4	7,841	▲ 1.1	1,215	▲ 6.3
8	45,580	1.3	33,031	6.1	46,591	3.2	7,931	0.4	1,219	▲ 5.5
9	45,177	▲ 0.1	33,389	5.5	46,716	2.8	7,949	1.9	1,226	▲ 6.5
10	44,971	▲ 0.3	33,285	6.1	46,057	2.1	8,064	2.9	1,214	▲ 7.2
11	45,547	▲ 0.1	33,538	5.8	46,507	2.5	8,021	2.3	1,205	▲ 7.5
12	45,258	▲ 1.0	33,790	5.0	46,570	2.4	8,010	2.3	1,207	▲ 6.6
2017 1	45,064	0.5	33,975	5.7	46,436	2.7	8,181	5.1	1,197	▲ 6.1
2	45,335	0.5	34,232	5.6	46,174	2.7	8,181	5.7	1,192	▲ 6.1
3	45,634	0.6	34,673	4.9	46,533	3.7	8,199	1.8	1,201	▲ 6.8
4	46,526	1.2	34,083	5.4	47,452	3.5	8,185	2.6	1,167	▲ 5.5
5	46,351	0.4	34,347	5.5	47,492	3.1	8,157	3.1	1,144	▲ 5.7
6	46,456	0.6	34,441	5.2	-	-	-	-	1,135	▲ 6.3
出所	沖縄県銀行協会				日本銀行那覇支店		沖縄振興開発金融公庫		沖縄県信用保証協会	

注) 県内金融機関の預金残高は、14年6月分より県内に所在する国内銀行および信用金庫の集計値へ変更になったため遡及改訂した。

なお、県内金融機関の預金残高は実質預金(総預金から小切手・手形を差し引いたもの)の集計値で、年度の残高は年度中の平残。

りゅうぎん ポイントサービス



ポイント数に応じてサービスいろいろ!

とくとく特典

特典1

ATM時間外
手数料が **無料!**
(当行ATM利用時のみ)

特典2

当行本支店間の
振込手数料が **無料!**
(キャッシュカード使用時のみ)

特典3

スーパー定期の
金利を**上乗せ!**
(※店頭表示金利+0.05%)

ポイントサービスとは!

日頃お世話になっているお客様に対し、毎月のお取引内容をポイント化し、その合計ポイントに応じて手数料割引または金利優遇等の特典が受けられるサービスのことをいいます。

シルバーコース **50point**以上

ゴールドコース **100point**以上

エクセレントコース **200point**以上

ポイントサービスのお申込みがまだの方は、店頭のポイントサービス申込み用紙にご記入のうえ、窓口または郵便にてお申込み下さい。



※商品についての詳しいお問い合わせは、りゅうぎん窓口かフリーコールまで。



0120-19-8689

琉球銀行 ポイントサービス

<http://www.ryugin.co.jp/>

検索

特集レポートバックナンバー

■平成27年

9月 (No.551)	経営トップに聞く An Entrepreneur	社会医療法人友愛会 有限会社日本アイル けどう動物病院	9月 (No.563)	経営トップに聞く An Entrepreneur	株式会社森山写真商会 琉球インタラクティブ株式会社
10月 (No.552)	経営トップに聞く An Entrepreneur	株式会社ビッグワン 株式会社アイセック・ジャパン	10月 (No.564)	経営トップに聞く An Entrepreneur	株式会社丸大 みかん・おれんじグループ
11月 (No.553)	経営トップに聞く An Entrepreneur	株式会社佐久本工機 株式会社食のかけはしカンパニー	11月 (No.565)	経営トップに聞く An Entrepreneur	デルタ電気工業株式会社 株式会社ABCメディカルサポート 特集 宮古ロックフェスティバル2016の経済効果
12月 (No.554)	経営トップに聞く An Entrepreneur	まさひろ酒造株式会社 安里紅型工房	12月 (No.566)	経営トップに聞く An Entrepreneur	フォーモストブルーシール株式会社 真幸組株式会社

■平成28年

1月 (No.555)	経営トップに聞く An Entrepreneur	社会医療法人仁愛会 有限会社島袋瓦工場 特集 沖縄県経済2015年の回顧と2016年の展望
2月 (No.556)	経営トップに聞く An Entrepreneur	株式会社ジャンボツアーズ あーびゃーんもーゆ琉球月桃
3月 (No.557)	経営トップに聞く An Entrepreneur	株式会社前田鶏卵 株式会社グランディール 特別寄稿 沖縄観光の長期展望
4月 (No.558)	経営トップに聞く An Entrepreneur	大晋建設株式会社 株式会社エスベレ 特別寄稿 那覇空港ハブにおけるアジア諸国との貿易動向 (2015年)
5月 (No.559)	経営トップに聞く An Entrepreneur	株式会社徳里産業 有限会社石川種麴店
6月 (No.560)	経営トップに聞く An Entrepreneur	医療法人博寿会 合同会社キンアグー
7月 (No.561)	経営トップに聞く An Entrepreneur	株式会社okicom 株式会社リュウクス
8月 (No.562)	経営トップに聞く An Entrepreneur	株式会社プレントーホールディングス 株式会社バイオジェット

■平成29年

1月 (No.567)	経営トップに聞く An Entrepreneur	株式会社かりゆし 有限会社コムテック創研 特集1 県内企業の人手不足の対応と課題 特集2 沖縄県経済2016年の回顧と2017年の展望
2月 (No.568)	経営トップに聞く An Entrepreneur	株式会社アレックス 有限会社浦西開発
3月 (No.569)	経営トップに聞く An Entrepreneur	株式会社富士葬祭 yu-i FACTORY 特別寄稿 那覇空港ハブにおけるアジア諸国との貿易動向 (2016年)
4月 (No.570)	経営トップに聞く An Entrepreneur	有限会社沖縄長生薬草本社 株式会社琉球ファクトリー
5月 (No.571)	経営トップに聞く An Entrepreneur	株式会社ナンポー 農業生産法人安座間珈琲農園合同会社 特集1 沖縄県の主要経済指標 特集2 2016年度の沖縄県経済の動向
6月 (No.572)	経営トップに聞く An Entrepreneur	株式会社次郎工業 株式会社EGL OKINAWA
7月 (No.573)	経営トップに聞く An Entrepreneur	生活協同組合コープおきなわ イーストホームタウン沖縄株式会社 特集 沖縄県内における2017年プロ野球春季キャンプの経済効果

車両の管理にお困りではありませんか？

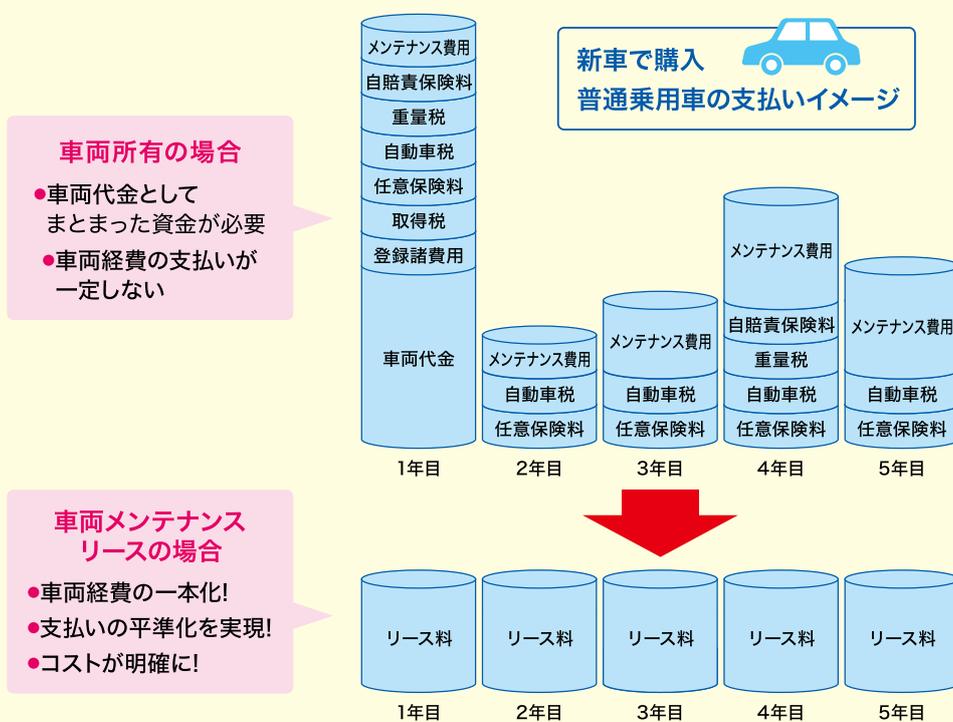
車両を所有した場合、税金・保険料・車検代など、
車両経費の支払い項目は多岐に渡ります。

しかも1台ごとに発生するため、
台数が多くなると、事務手続き等が煩雑になりがちです。

車両メンテナンスリースで **3**つの改善

- ① ほとんどのコストがリース料に一本化されるため、支払いを平準化することができます。
- ② 通常把握しにくい車両コストが明確になり、予算の策定・管理が容易になります。
- ③ 多くの場合、リース料の全額経費(損金)処理により、決算処理をシンプルに行うことができます。

(なお、契約条件やお客さまが採用する会計処理によっては、オンバランスとなる場合があります)



株式会社——企業のあすを共に考える
RL 琉球リース

<http://www.release.co.jp/>

【本社】〒900-8550 沖縄県那覇市久茂地1丁目7番1号 琉球リース総合ビル10階 TEL.098-866-5500 FAX.098-863-0381
【営業第三部】〒904-0004 沖縄県沖縄市中央1丁目1番10号 琉球銀行コザ支店共同ビル6階 TEL.098-939-4880 FAX.098-939-4882

りゅうぎん調査 No.574 平成29年 8月5日発行

発行所：株式会社りゅうぎん総合研究所
〒900-0025 那覇市壺川1丁目1番地9
りゅうぎん健保会館3階
TEL 835-4650 FAX 833-3732
印刷：沖縄高速印刷株式会社